Canon

Windows

カメラとの通信用ソフトウェア

EOS Utility

Ver.3.2

1D X　1D C　5D Mk III　6D　7D Mk II　M3

使用説明書

本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS Utility を EU と表記しています。
- カメラの名称をアイコンで示しています。
  例：EOS-1D X → 1D X
  なお、6D のアイコンは、EOS 6D（WG）/EOS 6D（W）/EOS 6D（N）のすべてのモデルを示し、特定モデルの説明が必要な場合にのみ、6D(WG) といったアイコンを使用しています。
- は対象カメラを示しています。
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。
  （例：メニューの［ウィンドウ］▶［メイン画面］を選ぶ）
- ［］内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- 〈〉内の語句は、カメラのスイッチ名称やマーク、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
  また、クリックすると参照ページが表示されます。
- ：注意事項です。
- ：補足説明です。

ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
  - ：次ページ
  - ：前ページ
  - ：ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された章見出しをクリックすると、章目次のページが表示されます。さらに、目次の読みたい項目をクリックするとそのページが表示されます。

© CANON INC. 2015　CCS-M056EUaWJ-020

はじめに

EOS Utility（以降 EU と表記）は、EOS DIGITAL カメラとの通信用ソフトウェアです。カメラとパソコンをカメラに付属のケーブルで接続すると、カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込んだり、カメラの各種設定やリモート撮影をパソコン上の EU から行うことができます。

EU でできること

EU からカメラをリモートコントロールして、主に次のことができます。

● カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像を一括してパソコンへ取り込む

- 選んだ画像だけをパソコンに取り込むことも可能

● パソコンからの各種カメラ設定

● パソコンからカメラを制御したリモート撮影

- パソコンでリアルタイムに被写体を確認しながら撮影できる「リモートライブビュー撮影」に対応
- カメラのシャッターボタン操作によるリモート撮影にも対応
- 設定した時間でカメラが自動撮影を行うタイマー撮影

● 画像取り込み時、リモート撮影時に連携動作する Digital Photo Professional Ver.4.x で、画像を即閲覧／確認

動作環境

OS（オペレーティングシステム）	Windows 8.1、Windows 8 Windows 7*1
機　種	上記の日本語版 OS がプリインストールされていて、USB 接続部を標準装備したパソコン（アップグレード機は動作保証外） ※ .NET Framework 4.5 以上が必要です。*2
CPU（シーピーユー）	Pentium 1.3GHz 以上
RAM（メモリー）	1GB 以上 *3
ディスプレイ	画面の解像度：1024 × 768 ピクセル以上 画面の色：中（16 ビット）以上

*1 Starter Edition を除く全バージョンの 32bit ／ 64bit システム用に対応
*2 .NET Framework は、マイクロソフト社のソフトウェアで、EU とともにインストールされます。
*3 Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 の 64bit 版は 2GB 以上
最新の OS を含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

対応カメラ

下記のカメラで撮影した RAW 画像、JPEG 画像、動画に対応しています。

EOS-1D X	EOS-1D C	EOS 5D Mark III
EOS 6D	EOS 7D Mark II	EOS M3*

* M3 は EU との連携時に、リモート撮影やリモートライブビュー撮影ができません。そのため、キャプチャー画面も表示されません。

目次

はじめに 2
EU でできること 2
動作環境 2
対応カメラ 2
1 パソコンに画像を取り込む 5
カメラとパソコンを接続する 6
EU を立ち上げる 8
EU の LAN 接続について 9
画像を一括してパソコンに取り込む 10
画像を選んでパソコンに取り込む 11
カメラの操作でパソコンに画像を取り込む 14
EU を終了する 14
2 パソコンからカメラを設定する 15
カメラの設定画面を使った設定 16
カメラの設定画面で設定できる項目 17
ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する 18
レンズ光学補正データをカメラに登録する 19
ホワイトバランスをパソコンに保存する 21
カスタムホワイトバランスをカメラに登録する 22
キャプチャー画面の撮影系メニューで行う機能設定 23
キャプチャー画面で設定できる項目 24
ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する 25
JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する 27
ホワイトバランスを補正してカメラに適用する 27
3 パソコンからカメラを制御するリモート撮影 28
リモートライブビュー撮影 29
HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影 35
リモートライブビュー画面の機能 37
手動ピント合わせ 37
AF によるピント合わせ 38
被写界深度と露出の確認 42
リモートライブビュー画面のホワイトバランス 43
水準器を表示する 44
アスペクト比を変える 45
録音の設定 46
オーバーレイ表示機能 48
グリッド線を表示する 52
カメラ操作による撮影 53
動画の撮影 54
タイマー制御による自動撮影 58
タイマー撮影 58
リモートインターバルタイマー撮影 58
リモートバルブ撮影 59
リモートバルブ撮影 59
バルブタイマー設定 60
ストロボ撮影 61
カメラのメモリーカードに BGM を登録する 64
Web サービスの設定 67
4 環境設定 69
環境設定 70
基本設定 70
保存先フォルダー 70
ファイル名 71
リモート撮影 71
連携ソフト 72
時刻設定 72
資　料 73
こんなときは 74

ソフトウェアを削除する（アンインストール）..... 76
カメラとプラグの固定 77
ビューワー画面の機能一覧 79
レンズ光学補正データの登録画面の機能一覧 80
キャプチャー画面の機能一覧..... 81
ストロボ機能設定画面の機能一覧..... 83
リモートライブビュー画面（ライブビュータブ）
の機能一覧 84
リモートライブビュー画面（構図タブ）の機能一覧..... 85
拡大表示画面の機能一覧 86
索　引..... 87
　この使用説明書について..... 88
　商標について 88
　EOS DIGITAL 用ソフトウェアに関するご相談
　窓口 88

1 パソコンに画像を取り込む

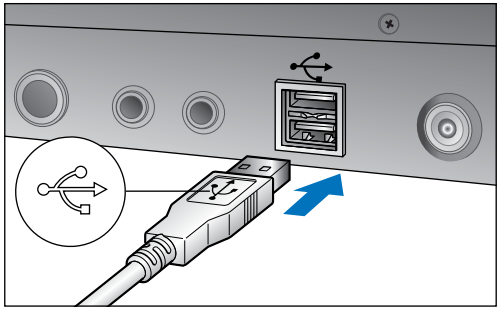
パソコンに画像を取り込むための準備（カメラとパソコンの接続方法）、EU の立ち上げかた、カメラからパソコンへの画像の取り込みかた、EU の終了方法までの基本的な一連の操作方法を説明します。

カメラとパソコンを接続する 6
EU を立ち上げる 8
EU の LAN 接続について 9
画像を一括してパソコンに取り込む 10
画像を選んでパソコンに取り込む 11
カメラからの GPS ログファイルの取り込みと消去..... 13
カメラの操作でパソコンに画像を取り込む 14
EU を終了する 14

カメラとパソコンを接続する

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込むため、カメラに付属のインターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続します。

1 ケーブルの大きい方のプラグを、パソコンの USB 接続部に差し込む



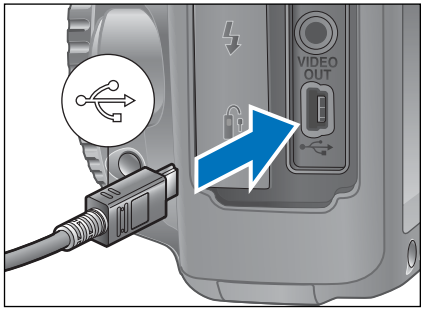
- USB 接続部の位置や向きについては、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの端子に差し込む

- カメラ別の手順でプラグをカメラに接続すると、画像を取り込む準備が完了します。「パソコンの設定を確認する」でパソコンの設定を確認の上、引き続き「EU を立ち上げる」（p.8）へ進んでください。

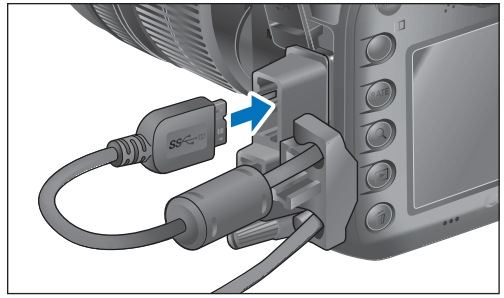
7D Mk II 以外のカメラ

- プラグの〈 〉マークをカメラの前面に向け、カメラの〈A/V OUT / DIGITAL〉端子に差し込みます。



7D Mk II

- カメラ側を接続するときは、ケーブルプロテクターを使用し（p.78）、プラグの〈SS〉マークがカメラの背面に向くようにして、デジタル端子に差し込みます。



- **パソコンの設定を確認する**

  EU を立ち上げる前に、カメラとパソコンを接続の上、カメラの電源スイッチは <ON> にして、パソコンが以下の設定になっているかご確認ください。以下の設定になっていない場合は設定を行ってください。インターネットに接続していることを前提に説明します。

  - Windows 7

    [コントロールパネル] ▶ **[デバイスとプリンター]** ▶ パソコンに接続しているカメラのアイコンをダブルクリック ▶ 表示されるメニューから **[全般設定を変更する]** を選んでダブルクリック ▶ **[このデバイスからこのコンピューターへの接続時]** のプルダウンメニューが **[何もしない]** になっていること。

  - Windows 8.1/Windows 8

    [コントロールパネル] ▶ **[デバイスとプリンターの表示]** ▶ パソコンに接続しているカメラのアイコンをダブルクリック ▶ 表示されるメニューから **[全般設定を変更する]** を選んでダブルクリック ▶ **[このデバイスからこの PC への接続時]** のプルダウンメニューが **[何もしない]** になっていること。

  確認、設定が終わったら、カメラの電源を <OFF> にしてください。EU を立ち上げる時は、確認、設定を行った USB 接続部にカメラをつなぐ必要があります。

  他の USB 接続部を使用したい場合はあらためて確認、設定を行ってください。

- 1D X　1D C　7D Mk II では、プラグ抜け防止用のケーブルプロテクターで、カメラとプラグを固定することができます。使いかたについては、p.77、p.78 を参照してください。

EU を立ち上げる

カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると EU が立ち上がり、カメラとパソコンが通信できる状態になります。

1 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

2 デスクトップにある［EOS Utility］アイコンをダブルクリックする

➜ カメラとパソコンの通信が開始され、次の画面が表示されます。

➜ 2 回目以降にカメラとパソコンを接続したときは、カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると EU が立ち上がります。

EU メイン画面

➜ EU が立ち上がりメイン画面が表示されて、カメラとパソコンの通信が可能になりました。引き続き「画像を一括してパソコンに取り込む」へ進んでください。

● 1D X 1D C 5D Mk III 7D Mk II では、カメラを操作して、カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を、パソコンに取り込むことができます。詳しくは、カメラの使用説明書を参照してください。

EU が立ち上がると、デスクトップのタスクバーにアイコン［ ］が表示されます。このアイコンをクリックして表示される画面で、次の設定を行うことができます。

［カメラ接続時に自動的に EOS Utility を起動しない］

この設定は、カメラとパソコンを USB 接続している場合にのみ有効です。なお、この画面の**［終了］**を選択すると、次回、カメラをパソコンと接続しても EU は自動的には立ち上がりません。

EU の LAN 接続について

EU の Wi-Fi/LAN 接続ペアリング機能を使用して LAN 接続を行います。
M3 は当機能を使用することはできません。

接続は、ワイヤレスファイルトランスミッター使用説明書、カメラ付属の Wi-Fi 機能使用説明書、有線 LAN 使用説明書の記載手順にしたがって行います。なお、以下の部分が EU Ver.2.13 以前とは異なりますのでご注意ください。

● WFT ペアリングソフトの起動

（EU Ver.2.13 以前）
・WFT ペアリングソフトの起動が必要
（EU Ver.2.14、EU Ver.3. x ）
・WFT ペアリングソフトの起動は不要だが、EU の起動が必要

● カメラが検出された時の操作

（EU Ver.2.13 以前）
・カメラが検出され、メッセージが表示されたら、WFT ペアリングソフトのアイコンをダブルクリックする
（EU Ver.2.14、EU Ver.3. x ）
・カメラが検出され、メッセージが表示されたら、メッセージをクリックする

LAN 接続の前に、必ず以下の確認を行ってください。

1 カメラとパソコンを接続せずに、EU を立ち上げる

→ 次の画面が表示されます。

2 ［Wi-Fi/LAN 接続ペアリング］ボタンを押し、［カメラと LAN で接続するためには Windows ファイアウォールの設定を変更する必要があります。変更を行いますか？］のメッセージが表示されたら、［はい］を選択する

画像を一括してパソコンに取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を選択した条件にそって、パソコンに取り込むことができます。

また、取り込んだ画像は撮影日ごとにフォルダに分類されて、連携して立ち上がる Digital Photo Professional Ver.4.x（RAW 画像現像／閲覧／編集ソフトウェア）（以降 DPP）のメイン画面に表示され、すぐに確認することができます。

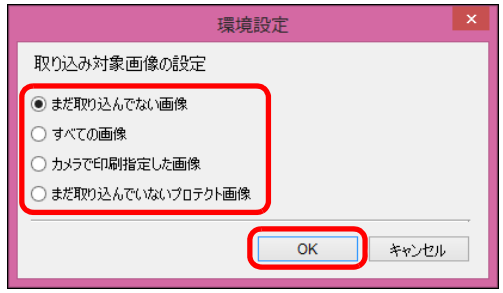
1 ［画像をパソコンに取り込み］をクリックする

➜ 画像取り込み画面が開きます。

2 ［自動取り込み開始］の［設定］ボタンを押す

➜ 設定画面が開きます。

3 画像を取り込む条件を選択の上、［OK］ボタンを押す



➜ 設定画面が閉じます。

4 ［自動取り込み開始］の文字をクリックする

➜ ［ファイル保存］画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

➜ 取り込まれた画像は、パソコンの［ピクチャ］フォルダに保存されます。

● すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。

5 取り込んだ画像を確認する

DPP メイン画面

- 取り込んだ画像を DPP で確認します。
  DPP の使いかたについては、「Digital Photo Professional Ver.4.x 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。
- 引き続き「EU を終了する」（p.14）へ進んでください。

画像を選んでパソコンに取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を見て、必要な画像だけをパソコンに取り込むことができます。

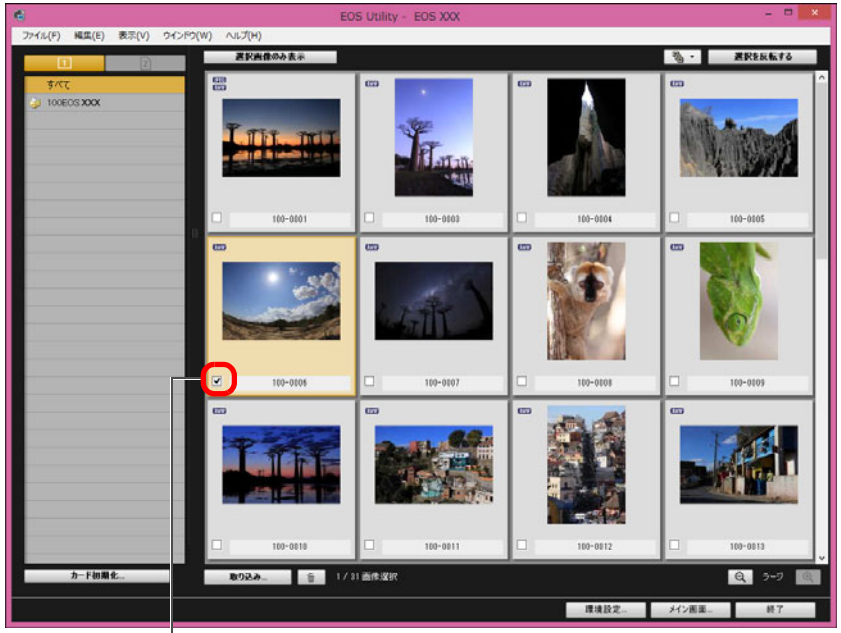
1 [選んで取り込み] をクリックする

➜ ビューワー画面が表示され、メモリーカード内の画像が表示されます。

- 画像を取り込んだときに連携して立ち上がるソフトウェアを、環境設定（**[連携ソフト]** タブ画面）で、DPP から別のソフトウェアに変更することができます。（p.72）
- 取り込む画像の保存先や、取り込み対象となる画像を、環境設定（**[保存先フォルダー]** タブ画面）で変更することができます。（p.70）
- 動画はファイルサイズが大きいため、取り込みに時間がかかります。

2 画像を見て、取り込む画像をチェックする

ビューワー画面

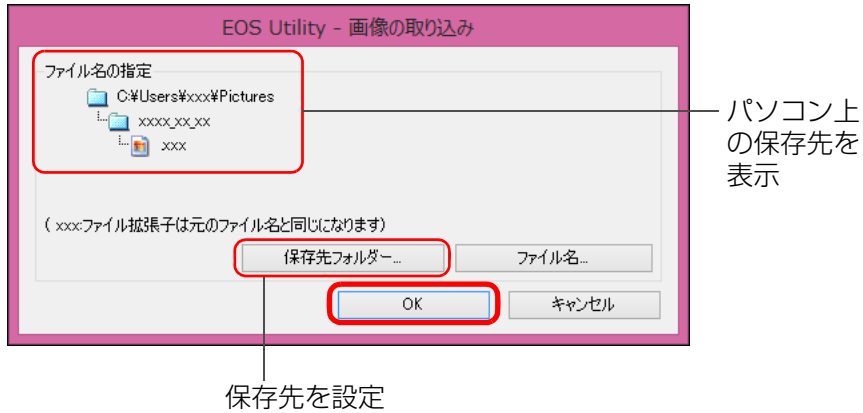


3 [取り込み] ボタンを押す

➜ 画像の取り込み画面が表示されます。

4 保存先を設定して [OK] ボタンを押す

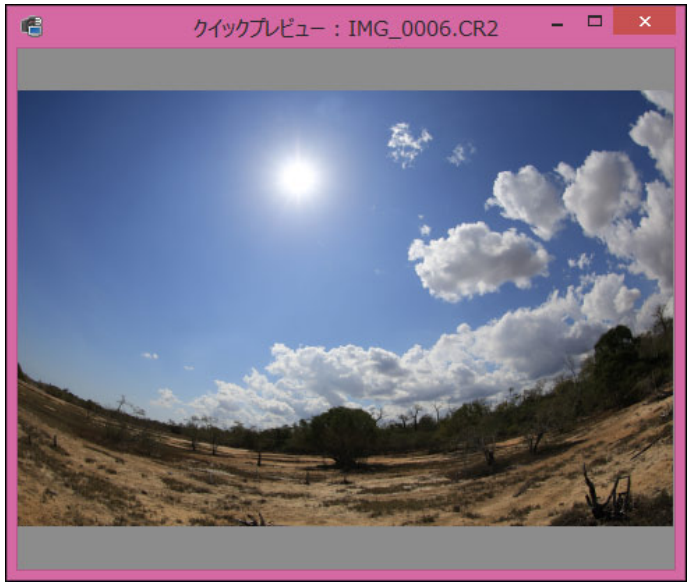
画像の取り込み画面



➜ [ファイル保存] 画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

[ ] ボタンを押すと、さまざまな条件で画像を絞り込み、取り込む画像を選ぶことができます。

➜ パソコンに取り込まれた画像は、**[クイックプレビュー]** 画面に表示されます。



- **[クイックプレビュー]** 画面では、取り込まれた画像を素早く確認することができます。なお、**[クイックプレビュー]** 画面の表示サイズは変更することができます。
- すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、取り込んだ画像が表示されます。
- メイン画面に切り換えるときは、ビューワー画面の **[メイン画面]** ボタンを押します。

- ビューワー画面の **[カード初期化]** ボタンを押すと、ビューワー画面に画像が表示されているカードの初期化を行うことができます。
- 手順２で連続した複数の画像を一括してチェックすることもできます。取り込みたい最初の画像をクリックしたあと、〈Shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックすると、[☑] が表示されます。[☑] ボタンを押すと、選んだ画像が一括してチェックされます。
- ビューワー画面の機能一覧は、p.79 を参照してください。

カメラからの GPS ログファイルの取り込みと消去

6D(WG) 7D Mk II

GPS 内蔵の EOS DIGITAL カメラには GPS ログファイルを保存する機能があります。EU を使用して、カメラの内蔵メモリーやカメラ内のメモリーカードに保存された GPS ログファイルをパソコンに取り込むことができます。カメラ内のメモリーカードに保存された GPS ログファイルを消去することもできます。この機能は、カメラの **[GPS 機器の選択]** が **[内蔵 GPS]** または **[GPS]** が **[使う]** に設定されていて、対応する Map Utility* がインストールされているときにのみ有効となります。

* 6D(WG) は Ver.1.4 以上、7D Mk II は Ver.1.5.3 以上

EU を立ち上げて、カメラ内のメモリーカードからパソコンに画像を取り込む場合に、カメラの内蔵メモリーやカメラ内のメモリーカードに GPS ログファイルがあるときは **[GPS ログファイルの取り込み]** 画面が表示されます。

- パソコンに GPS ログファイルを取り込みたいときは、**[はい]** ボタンを押します。

➜ GPS ログファイルがパソコンに取り込まれます。カメラの内蔵メモリーに GPS ログファイルがある場合、GPS ログファイルはカメラ内のメモリーカードに保存されてから *、パソコンに取り込まれます。このとき、GPS ログファイルがメモリーカードに保存されると、カメラの内蔵メモリー内の GPS ログファイルは消去されますので、ご注意ください。

* GPS ログファイルは、カメラで画像の保存先に設定されたメモリーカードに保存されます。

- **[取り込み後に、カメラ内のメモリカードから GPS ログファイルを削除する。]** のチェックを外すと、GPS ログファイルの取り込み後もカメラ内のメモリーカードから GPS ログファイルが削除されません。
- 取り込まれた GPS ログファイルは、パソコンの以下の場所に保存されます。
  パソコンのドキュメントフォルダ内の **[Canon Utilities]** ▶ **[GPS Log Files]** フォルダ

カメラの操作でパソコンに画像を取り込む

1D X　1D C　5D Mk III　7D Mk II

ダイレクト画像転送機能を搭載したカメラでは、カメラの操作でカメラ内のメモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むことができます。ダイレクト画像転送機能に関する詳しい操作方法は、カメラに付属のカメラ使用説明書を参照してください。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.6)

2 カメラでダイレクト画像転送の操作を行う

→ カメラ内の画像がパソコンに保存されます。

● すべての画像が取り込まれると、Digital Photo Professional Ver.4.x が起動し、取り込んだ画像が表示されます。

EU を終了する

1 [終了] ボタンを押す

→ 画面が閉じて EU が終了します。

2 カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする

3 カメラとパソコンからケーブルを抜く

● ケーブルを引っぱらずに、必ずプラグを持って抜いてください。

2 パソコンからカメラを設定する

カメラの各種機能を、EU から設定する方法について説明します。

カメラの設定画面を使った設定 16
カメラの設定画面で設定できる項目 17
ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する 18
レンズ光学補正データをカメラに登録する 19
ホワイトバランスをパソコンに保存する 21
カスタムホワイトバランスをカメラに登録する 22
キャプチャー画面の撮影系メニューで行う機能設定 23
キャプチャー画面で設定できる項目 24
ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する 25
ピクチャースタイルを選んでカメラに適用する 25
ピクチャースタイルの設定値を変更してカメラに適用する 26
JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する 27
ホワイトバランスを補正してカメラに適用する 27

カメラの設定画面を使った設定

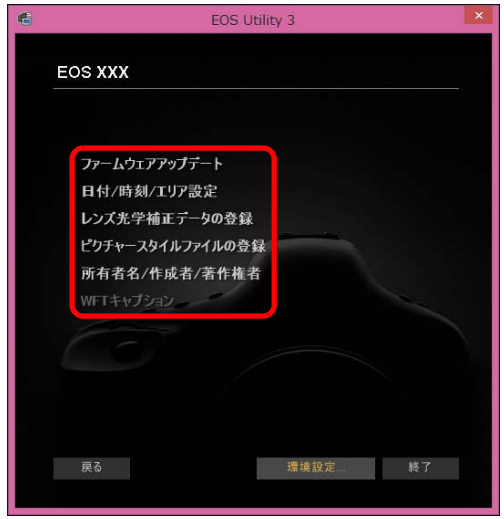
カメラの設定画面を使った設定について説明します。カメラの設定画面で設定するのは、主に撮影に先だって設定が必要な機能です。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.8)

2 [カメラの設定] をクリックする

➜ カメラの設定画面が表示されます。

3 設定する項目をクリックして各内容を設定する



- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。
  内容については、「カメラの設定画面で設定できる項目」(p.17) を参照してください。
- ピクチャースタイルファイルの登録方法、レンズ光学補正データの登録方法、カスタムホワイトバランス設定方法については、それぞれ、「ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する」(p.18)、「レンズ光学補正データをカメラに登録する」(p.19)、「カスタムホワイトバランスをカメラに登録する」(p.22) を参照してください。

カメラの設定画面で設定できる項目

設定項目	1D X / 1D C	5D Mk III / 6D / 7D Mk II	M3
ファームウェアアップデート	○	○	–
日付／時刻／エリア設定	○	○	–
レンズ光学補正データの登録	○	○	○
ピクチャースタイルファイルの登録	○	○	○
所有者名／作成者／著作権者	○	○	○
カスタムホワイトバランス設定	○	–	–
WFT キャプション	○	△*1	–
BGM の登録	–	△*2	–
Web サービスの設定	–	△*2	–

*1 6D は設定できません。
*2 5D Mk III 7D Mk II は設定できません。

ファームウェアアップデート
- カメラのファームウェアのバージョンが表示されます。
- 本項目をクリックすることで、ファームウェアをアップデートすることができます。
- ファームウェアアップデートの詳しい内容については、キヤノンホームページを参照してください。

日付／時刻／エリア設定
- カメラの日付／時刻と撮影したときのエリア（地域）を設定することができます。
- パソコンのシステム時刻を取得し、カメラの日付／時刻と同期させることができます。
- サマータイムの設定、解除を行うことができます。

レンズ光学補正データの登録
- レンズ光学補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。（p.19）

ピクチャースタイルファイルの登録
- ピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定として 3 つまでカメラに登録することができます。（p.18）

所有者名
- カメラの所有者名を、半角英数字で最大 31 文字まで入力／設定することができます。

作成者
- 作品の作成者を、接頭語を含め、半角英数字／記号で最大 63 文字まで入力／設定することができます。

著作権者（著作権情報）
- 作品の著作権者（著作権情報）を、接頭語を含め、半角英数字／記号で最大 63 文字まで入力／設定することができます。

カスタムホワイトバランス設定
- カスタムホワイトバランスファイルをカメラに登録することができます。（p.22）また、画像のホワイトバランスの調整結果を、ホワイトバランスファイル（拡張子「.WBD」）としてパソコンへ保存することができます。（p.21）

WFT キャプション
- ワイヤレスファイルトランスミッターの「キャプション付き転送」に使用するキャプションを作成し、 カメラに設定する機能です。
- WFT キャプションの詳しい内容についてはワイヤレスファイルトランスミッター使用説明書を参照してください。

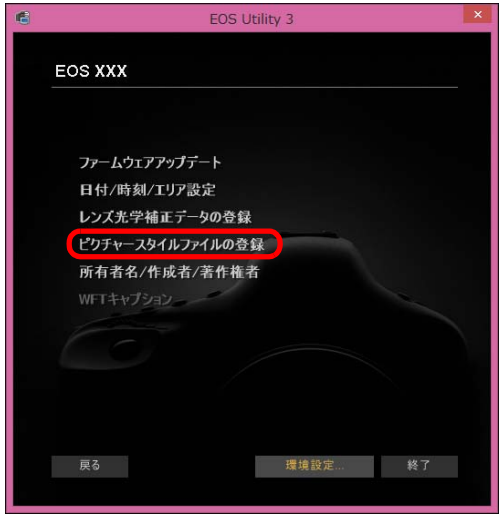
BGM の登録
- パソコンに保存された WAV 形式の楽曲データを、カメラのメモリーカードに BGM として登録することができます。登録した BGM は、カメラでビデオスナップアルバムやスライドショーを再生するときに、一緒に再生することができます。（p.64）

Web サービスの登録
- Web サービスをカメラに登録することができます。（p.67）

ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する

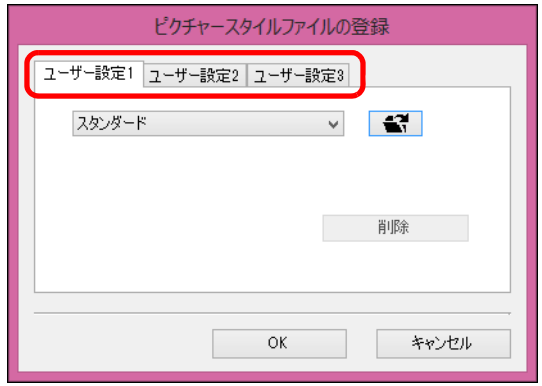
キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）（以降 PSE）で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定として 3 つまでカメラに登録することができます。

1 ［ピクチャースタイルファイルの登録］をクリックする

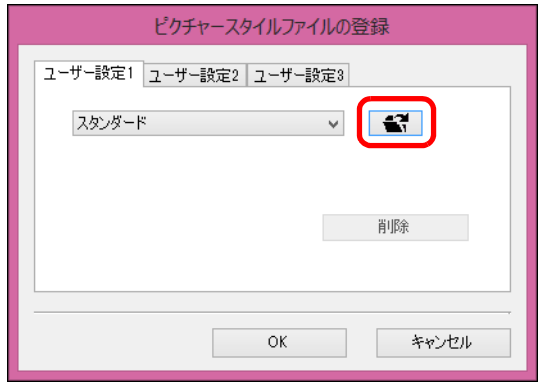


➜［ピクチャースタイルファイルの登録］画面が表示されます。

2 ［ユーザー設定 1］～［ユーザー設定 3］のいずれかのタブを選ぶ

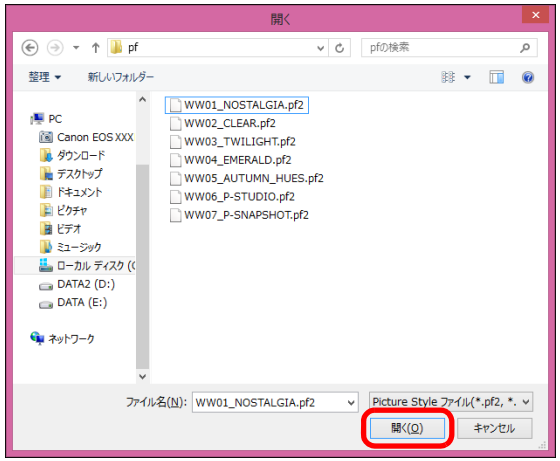


3 ［ ］ボタンを押す



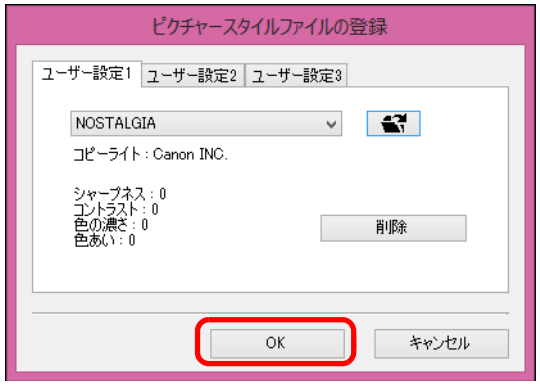
➜［ファイルを開く］画面が表示されます。

4 ピクチャースタイルファイルを選び、[開く] ボタンを押す



➜ ピクチャースタイルファイルが読み込まれます。

5 [OK] ボタンを押す



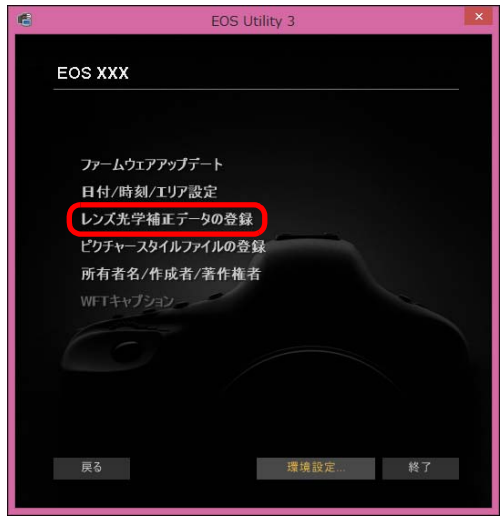
➜ ピクチャースタイルファイルがカメラに登録されます。

- ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイルの拡張機能ファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳しい内容については、キヤノンホームページを参照してください。
- カメラに適用できるピクチャースタイルファイルは、拡張子が「.PF2」、「.PF3」のファイルです。
- PSE の使いかたについては、「Picture Style Editor 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

レンズ光学補正データをカメラに登録する

レンズ光学補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。なお、EF-M レンズは、補正データを登録する必要はありません。1D C（ファームウェア Ver.1.3.0 以上）は、カメラに EF シネマレンズ（CN-E レンズ）のレンズ収差補正データを登録することができます。

1 [レンズ光学補正データの登録] をクリックする



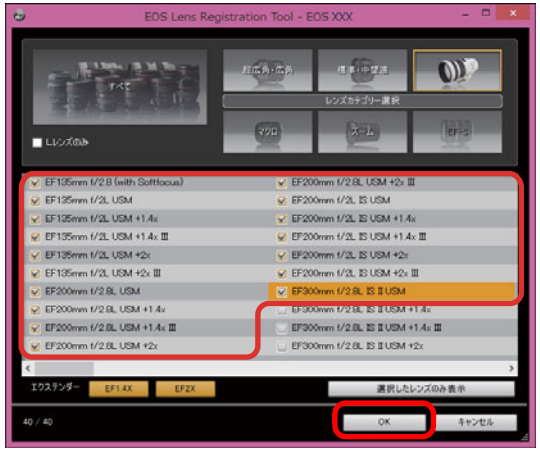
➜ [レンズ光学補正データの登録] 画面が表示され、カメラに補正データが登録されているレンズにチェックが入ります。

2 補正データを登録したいレンズのカテゴリーを選ぶ

レンズ光学補正データの登録画面

➜ 選んだカテゴリーのレンズのみ一覧表示されます。

3 補正データを登録したいレンズを選び、[OK] ボタンを押す



➜ 選んだレンズの補正データがカメラに登録され、EU が終了します。

● 登録されたレンズのチェックを外して [OK] ボタンを押すと、補正データをカメラから削除することができます。

当機能を使用するには、EOS Lens Registration Tool がインストールされている必要があります。

● **[レンズ光学補正データの登録]** 画面の機能一覧は、p.80 を参照してください。

● **[レンズ光学補正データの登録]** 画面に表示されるレンズ名は、レンズの種類によってはレンズ名の一部が省略されて表示されることがあります。

● EF 15mm F2.8 Fisheye、EF 8-15mm F4L USM Fisheye は、**[レンズ光学補正データの登録]** の対象外です。

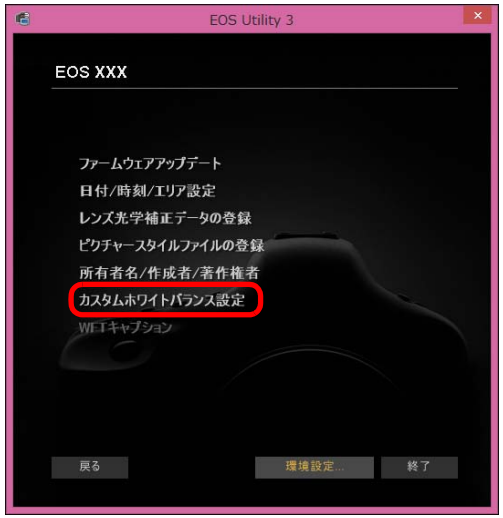
ホワイトバランスをパソコンに保存する

1D X　1D C

画像のホワイトバランスの調整結果は、ホワイトバランスファイル（拡張子「.WBD」）としてパソコンへ保存することができます。パソコンに保存したホワイトバランスファイルは、カスタムホワイトバランスとしてカメラに登録することができます。（p.22）

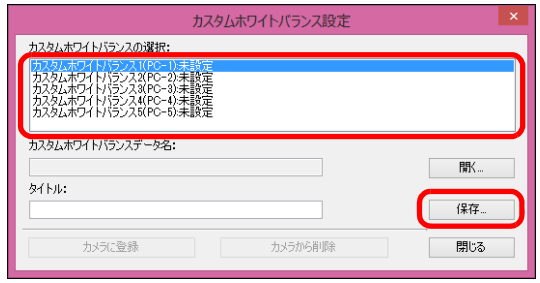
ホワイトバランスは、**［リモートライブビュー画面］**で調整を行ったあと、あらかじめカメラに登録しておきます。

1 ［カスタムホワイトバランス設定］をクリックする



➜ ［カスタムホワイトバランス設定］画面が表示されます。

2 パソコンに保存したいホワイトバランスを選び、［保存］ボタンを押す



3 表示された画面で、ファイル名を入力し、保存先を選んで、［保存］ボタンを押す

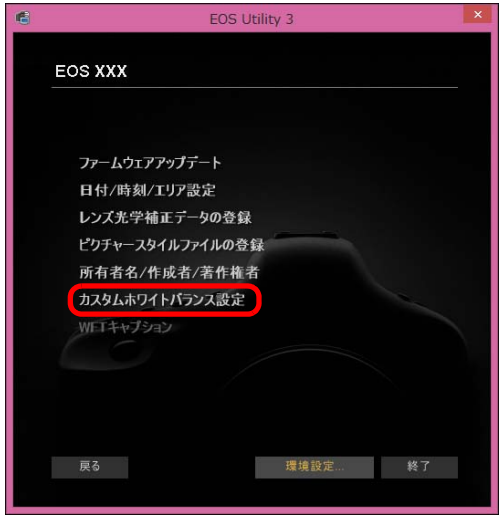
➜ ホワイトバランスファイルがパソコンに保存されます。

カスタムホワイトバランスをカメラに登録する

1D X　1D C

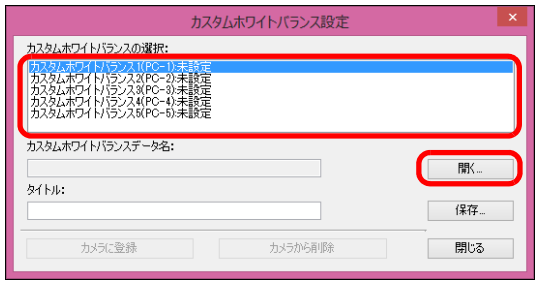
画像のホワイトバランスを調整して保存したホワイトバランスファイルを、カスタムホワイトバランスとしてカメラに登録することができます。

1 ［カスタムホワイトバランス設定］をクリックする



→［カスタムホワイトバランス設定］画面が表示されます。

2 登録するカスタムホワイトバランスを選び、［開く］ボタンを押す



→［ファイルを開く］画面が表示されます。

3 ホワイトバランスファイルが保存されている場所を開き、ファイルを選んで［開く］ボタンを押す

→ホワイトバランスファイルが読み込まれます。

●カメラに登録できるホワイトバランスファイルは、拡張子が「.WBD」のファイルです。

4 ［タイトル：］入力欄にタイトルを入力する

5 ［カメラに登録］ボタンを押す

→カスタムホワイトバランスがカメラに登録されます。

●引き続き登録するときは、手順２～５の操作を繰り返してください。

6 ［閉じる］ボタンを押す

→［カスタムホワイトバランス設定］画面が閉じ、カメラの設定画面に戻ります。

7 登録したカスタムホワイトバランスをカメラで選ぶ

●登録したカスタムホワイトバランスをホワイトバランスとして選びます。

●カスタムホワイトバランス、またはマニュアルホワイトバランスの選びかたについては、カメラ使用説明書のホワイトバランスの設定についての項目を参照してください。

キャプチャー画面の撮影系メニューで行う機能設定

キャプチャー画面の撮影系メニューで行うカメラの機能設定について説明します。このメニューで設定するのは、主に撮影を進めながら設定変更することが多い機能です。M3 は当機能を使用することはできません。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.6)

2 [リモート撮影] をクリックする

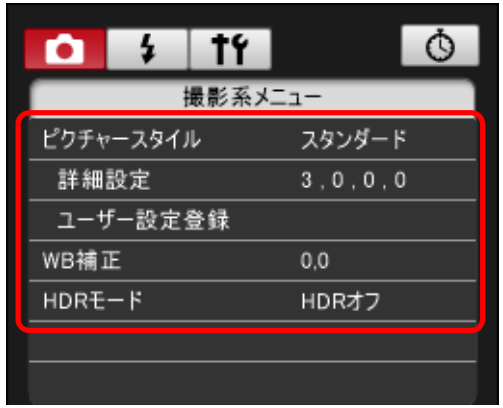
➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 [ ] ボタンを押す

➜ [撮影系メニュー] が表示されます。

4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

メニュー表示例（ 5D Mk III ）



- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「キャプチャー画面で設定できる項目」を参照してください。

キャプチャー画面で設定できる項目

設定項目	1D X	1D C	5D Mk III	6D	7D Mk II
ピクチャースタイル	○			○	
JPEG 画質	○			–	
WB（ホワイトバランス）補正	○			○	
HDR モード	–			○	
バルブタイマー設定	–			△ *	

△ * 7D Mk II のみ設定可能

ピクチャースタイル

- カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。（p.25）

JPEG 画質

- カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定してカメラに適用することができます。（p.27）

WB（ホワイトバランス）補正

- カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。（p.27）

HDR（ハイダイナミックレンジ）モード

- 白とびや黒つぶれを緩和したダイナミックレンジが広い写真や、絵画のような写真を撮影することができます。（p.35）

バルブタイマー設定

- バルブ撮影時の露光時間をあらかじめ設定することができます。（p.60）

ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する

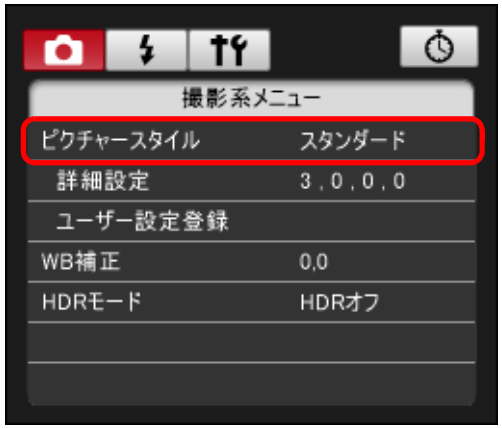
カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。各ピクチャースタイルの［**シャープネス**］、［**コントラスト**］、［**色の濃さ**］、［**色あい**］の値を変更してカメラに設定したり、自分の好みに設定したピクチャースタイルをユーザー設定としてカメラに 3 つまで登録することができます。

また、キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）（以降 PSE）で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定としてカメラに登録することもできます。

なお、ピクチャースタイルの登録には時間がかかることがあります。

ピクチャースタイルを選んでカメラに適用する

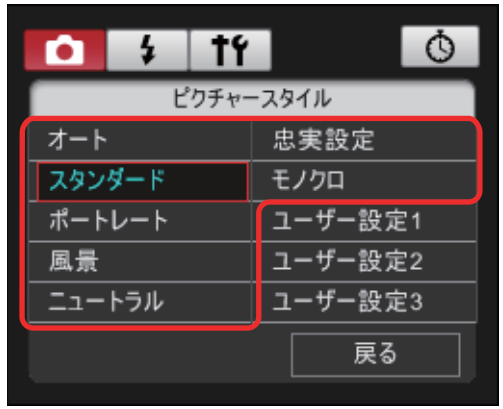
1 ［**ピクチャースタイル**］をクリックする



➜［**ピクチャースタイル**］画面が表示されます。

2 カメラに設定するピクチャースタイルをクリックする

ピクチャースタイル画面



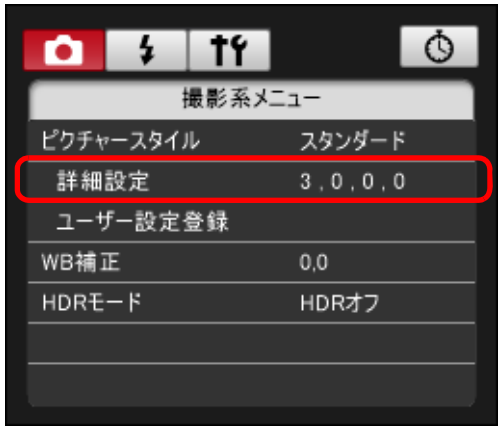
➜ 設定内容がカメラに適用され、［**撮影系メニュー**］に戻ります。

1D C 接続時、カメラに Canon Log ガンマの設定が行われている場合は、当機能で、ピクチャースタイルの選択や、ピクチャースタイルの設定値を変更しても、撮影する動画には反映されません。

ピクチャースタイルの設定値を変更してカメラに適用する

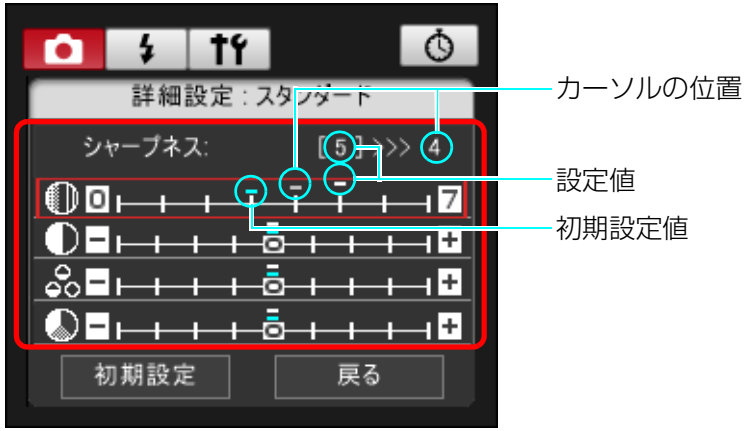
カメラでの操作と同じように、各ピクチャースタイルの［**シャープネス**］、［**コントラスト**］、［**色の濃さ**］、［**色あい**］を自分好みに設定して、カメラに適用することができます。

1 ［詳細設定］をクリックする



➜［**詳細設定**］画面が表示されます。

2 各項目のスライダー上の目盛をクリックして設定する



➜ピクチャースタイルで［**モノクロ**］を選んだとき（p.25）は、［**フィルター効果**］、［**調色**］のリストボックスが表示されます。

3 ［戻る］をクリックする

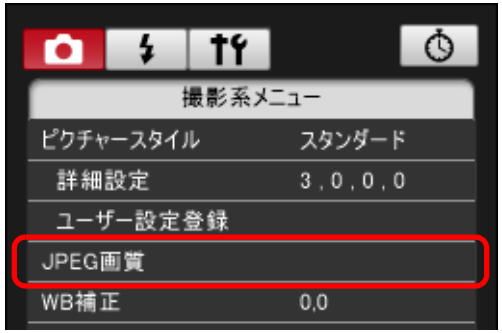
➜設定内容がカメラに適用され、［**撮影系メニュー**］に戻ります。

JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する

1D X　1D C

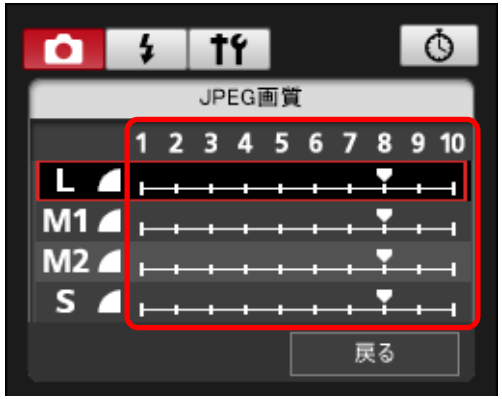
カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定して、カメラに適用することができます。

1 [JPEG 画質] をクリックする



➜ [JPEG 画質] 画面が表示されます。

2 設定位置をクリックする



➜ 設定内容がカメラに適用されます。

● 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。

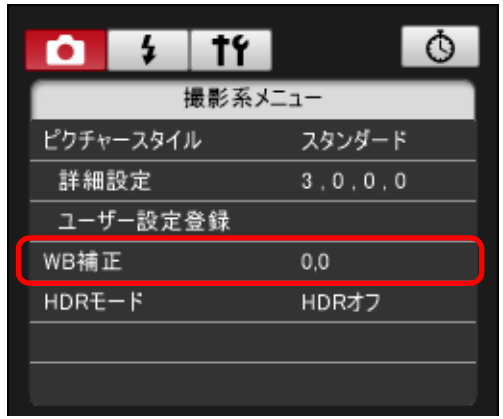
3 [戻る] をクリックする

➜ [撮影系メニュー] に戻ります。

ホワイトバランスを補正してカメラに適用する

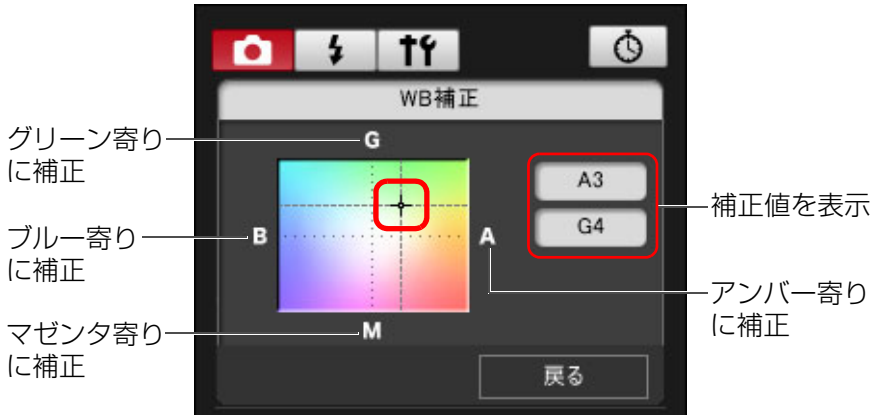
カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。

1 [WB 補正] をクリックする



➜ [WB 補正] 画面が表示されます。

2 補正位置をクリックする



➜ 設定内容がカメラに適用されます。

3 [戻る] をクリックする

➜ [撮影系メニュー] に戻ります。

● 補正値を元の値に戻すときは、手順 2 の操作で戻します。

3 パソコンからカメラを制御するリモート撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、EU の画面上で被写体を見ながらカメラを設定し、撮影することができます。また、リモート撮影状態でのカメラ操作による撮影や、設定した時間でカメラが自動撮影するタイマー撮影を行うこともできます。M3 は当機能を使用することはできません。

リモートライブビュー撮影 29
HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影 35
リモートライブビュー画面の機能 37
手動ピント合わせ 37
AF によるピント合わせ 38
クイックモードによるピント合わせ 38
ライブモードによるピント合わせ 40
顔優先ライブモードによるピント合わせ 41
顔 + 追尾優先 AF によるピント合わせ 41
ライブ多点 AF によるピント合わせ 42
被写界深度と露出の確認 42
リモートライブビュー画面のホワイトバランス 43
水準器を表示する 44
アスペクト比を変える 45
録音の設定 46
録音 / 録音レベルについて 47
ウィンドカット機能について 47
オーバーレイ表示機能 48
オーバーレイ画像を拡大／縮小表示する 49
オーバーレイ画像を回転表示する 50
オーバーレイ画像の合成比率を設定する 50
オーバーレイ画像を移動表示する 51
別の画像をオーバーレイ表示する 51
オーバーレイ画像を非表示にする 52
グリッド線を表示する 52
カメラ操作による撮影 53
動画の撮影 54
タイマー制御による自動撮影 58
タイマー撮影 58
リモートインターバルタイマー撮影 58
リモートバルブ撮影 59
リモートバルブ撮影 59
バルブタイマー設定 60
ストロボ撮影 61
カメラのメモリーカードに BGM を登録する 64
Web サービスの設定 67

リモートライブビュー撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、パソコンの画面上で撮影することができます。

また、撮影した画像はそのままパソコンに保存され、連携する Digital Photo Professional Ver.4.x（以降 DPP）で、再度確認することもできます。

一定の構図で大量の撮影を行う、スタジオ撮影などに有効な機能です。

1 カメラとパソコンを接続して、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

➜ EU が立ち上がります。

2 ［リモート撮影］をクリックする

➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 カメラを設定する

設定項目をクリック、または右クリックして設定内容を選ぶ *1*2

*1 **[環境設定]** の **[リモート撮影]** タブ画面の **[キャプチャー画面でマウスホイール操作により設定を変更する]** (p.71) をチェックすると、各設定項目の画面や表示されるメニューで、マウスのホイールを使って設定内容を選ぶことができます。ただし、ミラーアップのメニューと **[撮影画像の保存先]** では、ホイール操作はできません。

*2 露出レベル／ AEB レベル項目を右クリックで選び、〈Shift〉キー＋マウスのホイール操作で、AEB 設定を行うこともできます。

- キャプチャー画面で設定できない機能は、カメラを操作して設定してください。
- セルフタイマー撮影のカウントダウン中に警告ランプが点滅し、撮影可能枚数エリアにカウントダウン時間が表示されます。
- ミラーアップ撮影の設定変更は、カメラのモードが P、Tv、Av、M、B に設定されているときに、有効になります。
- ミラーアップ撮影中は、アイコンが点滅します。
- AE 撮影する場合、露出アンダーや露出オーバーのときは、シャッター速度表示、または絞り表示が点滅します。
- マニュアル露出撮影するときは、露出レベル表示エリアに、測光値がリアルタイムで表示されます。

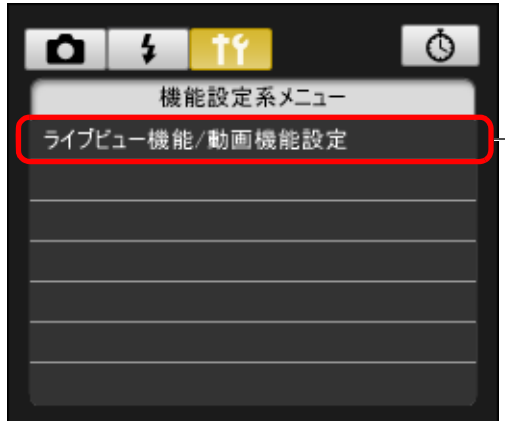
キャプチャー画面の機能一覧は、p.81 を参照してください。

4 [ ] ボタンを押す

➜ [機能設定系メニュー] が表示されます。

5 ライブビュー機能を設定する

● [ライブビュー機能／動画機能設定] をクリックします。

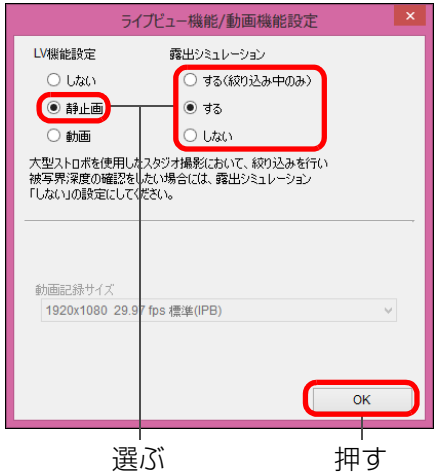


● [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が表示されます。設定方法については、次ページを参照してください。

ライブビュー機能／動画機能設定画面

1D X　1D C

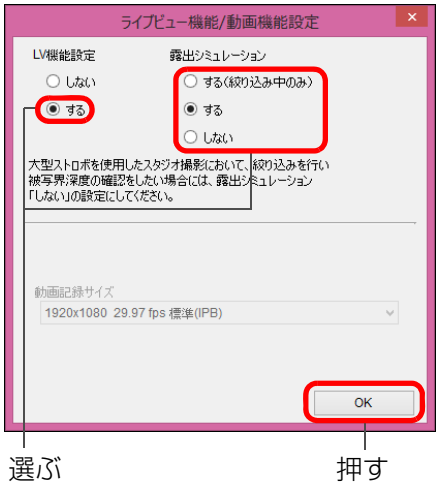
[LV 機能設定] の **[静止画]** と、**[露出シミュレーション]** 項目の設定を選んで、**[OK]** ボタンを押します。



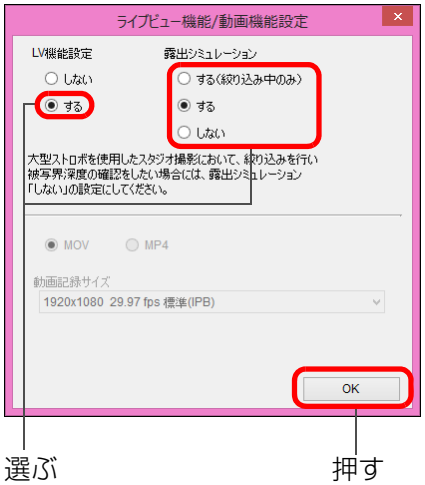
5D Mk III　6D　7D Mk II

[LV 機能設定] の **[する]** と、**[露出シミュレーション]** 項目の設定を選んで、**[OK]** ボタンを押します。

5D Mk III　6D



7D Mk II

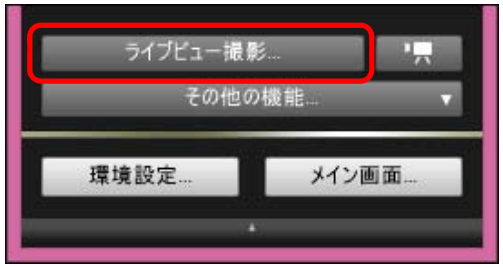


露出シミュレーションについて

露出シミュレーションは、実際の撮影結果（露出）に近い明るさをシミュレートして映像を表示する機能です。

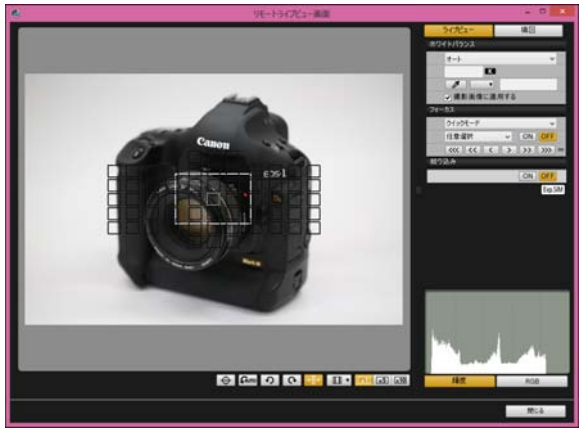
- する
  実際の撮影結果（露出）に近い明るさで表示されます。露出補正を行うと、補正量に応じて映像の明るさが変わります。
- しない
  ライブビュー映像が見やすいように、標準的な明るさで表示されます。露出補正を行っても、標準的な明るさで表示されます。
- する（絞り込み中のみ）
  通常は、ライブビュー映像が見やすいように、標準的な明るさで表示されます。絞り込みボタンを押している間だけ、実際の撮影結果（露出）に近い明るさで表示されます。

6 ［ライブビュー撮影］ボタンを押す

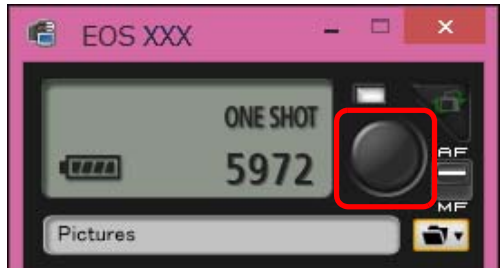


➜［リモートライブビュー画面］が表示されます。

リモートライブビュー画面



7 ［●］ボタンを押して撮影する



➜撮影した画像がパソコンに転送されて、［クイックプレビュー］画面に表示され、そのあと DPP が自動的に立ち上がります。

- DPP が立ち上がる前に表示される［クイックプレビュー］画面では、撮影した画像を素早く確認することができます。なお、［クイックプレビュー］画面の表示サイズは変更することができます。
- キャプチャー画面の［その他の機能］ボタンを押して、表示されるメニューから［クイックプレビュー］を選ぶと、［クイックプレビュー］画面を表示／非表示にすることができます。

- RAW 現像を行うことはできません。カメラで RAW 現像中にカメラをパソコンに接続したときは、RAW 現像を終了して接続が行われます。
- モードダイヤルに「かんたん撮影ゾーン」があるカメラでは、「かんたん撮影ゾーン」の各モードの設定を行うことはできません。

キーボードの〈スペース〉キーを押しても、撮影することができます。

- **[リモートライブビュー画面]** が表示されているときは、カメラ側の操作はできません。ライブビュー撮影ボタンを押すことで、カメラの液晶モニターにもライブビュー画像が表示され、カメラの操作をすることができるようになります。
- **[リモートライブビュー画面]** を表示させなくても、キャプチャー画面を操作することで撮影できます。
- **[リモートライブビュー画面]** で露出シミュレーション（p.42）を行うときや、ヒストグラムの表示（p.84）を有効にするときは、メニューの **[露出 Simulation]** を **[する]** に設定してください。
- リモート撮影でもミラーアップ撮影を行うことができます。（リモートライブビュー撮影中は、ミラーアップすることはできません。）
- セルフタイマー撮影を行うことができます。
- リモート撮影した画像がパソコンに転送されると自動的に立ち上がるソフトウェアを、環境設定（**[連携ソフト]** タブ画面）で、DPP から別のソフトウェアに変更することができます。（p.72）
- **[リモートライブビュー画面]** の機能一覧は、p.84 を参照してください。
- **[拡大表示]** 画面の機能一覧は、p.86 を参照してください。

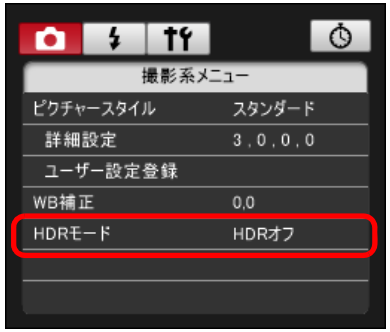
HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影

5D Mk III　6D　7D Mk II

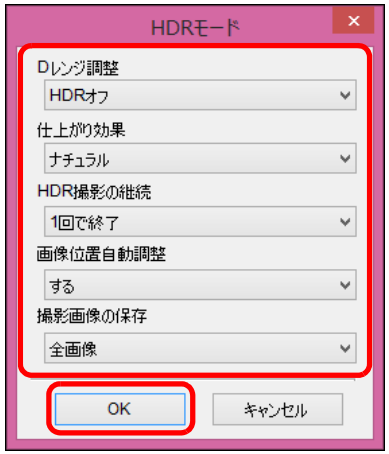
白とびや黒つぶれを緩和したダイナミックレンジが広い写真や、絵画のような写真を撮影することができます。風景などの静物撮影に適しています。HDR 撮影では、1 回の撮影で露出の異なる 3 枚の画像（標準露出／露出アンダー／露出オーバー）を撮影して、自動的に画像合成を行います。撮影した HDR 画像は、JPEG 画質で記録されます。
※HDR は、High Dynamic Range（ハイダイナミックレンジ）の略です。

1 HDR を設定する

- **[撮影系メニュー]** の **[HDR モード]** を選び、表示される画面で各項目を設定したあと、**[OK]** ボタンを押します。



- 接続するカメラによって、表示される内容が異なる場合があります。



- **[D レンジ調整]**：ダイナミックレンジの調整幅を設定します。**[HDR オフ]**、**[自動]**、**[±1]**、**[±2]**、**[±3]** から選択します。**[自動]** を選ぶと、撮影画面全体の明暗差に応じて調整幅が自動設定されます。また、数値が大きいほどダイナミックレンジが広い写真を撮影することができます。
- **[仕上がり効果]** 5D Mk III　7D Mk II：仕上がり効果を選びます。具体的な仕上がり効果は、カメラ本体使用説明書の「HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影」に該当するページをご確認ください。
- **[HDR 撮影の継続]**：**[1 回で終了]** を選んだときは撮影が終了すると、HDR 撮影が自動的に解除されます。**[繰り返し]** を選んだときは、**[D レンジ撮影]** の **[HDR オフ]** を選ぶまで繰り返し HDR 撮影が行われます。
- **[撮影画像の保存]** 5D Mk III　7D Mk II：撮影した 3 枚の画像と、合成した HDR 画像を保存するときは、**[全画像]** を選びます。完成した HDR 画像のみを保存するときは **[HDR 画像のみ]** を選びます。

2 撮影する

- AEB、WB ブラケティング、マルチショットノイズ低減機能、多重露出が設定されているときや、ストロボ撮影、リモートバルブ撮影、動画撮影時は、HDR モードの設定はできません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の移動が残像のように写るため、おすすめできません。静物撮影をおすすめします。
- HDR 撮影はシャッター速度を自動的に変えて 3 枚の画像を撮影します。そのため、Tv、M モードでも設定したシャッター速度を基準に、速度が変化します。
- 手ブレを抑えるため、通常よりも ISO 感度が高く設定されることがあります。
- 格子模様、ストライプ模様のような繰り返しパターンや、画面全体が平坦で単調なときは、自動位置合わせが正常に行われないことがあります。
- 空や白壁のようなシーンのグラデーションが滑らかに再現されなかったり、ムラやノイズが発生することがあります。
- HDR 撮影は撮影後に画像を合成するため、通常の撮影よりも、画像が記録されるまでの時間が長くなります。画像処理中はカメラ本体の表示パネルに「BUSY」が表示され、処理が終わるまで次の撮影はできません。

- 三脚の使用をおすすめします。また、手持ち撮影をするときは、高速シャッターで撮影することをおすすめします。
- **[画像位置自動調整]** を **[する]** に設定して手持ち撮影を行うと、画像の周辺部分がわずかにトリミングされ、解像感が若干低下します。また、手ブレなどにより画像のズレ量が大きいと、自動位置合わせが行われないことがあります。なお、極端に明るい / 暗い露出設定で撮影すると、自動位置合わせが適切に行われないことがあります。
- **[画像位置自動調整]** を **[しない]** に設定して手持ち撮影を行うと、3 枚の画像がズレて、HDR の効果が十分に得られないことがあります。
- 蛍光灯や LED 電球などの光源下で HDR 撮影を行うと、照明されている部分が適切な色で再現されないことがあります。
- HDR モードを設定したときは、メニュー画面にグレーで表示されている項目は設定できません。なお、HDR モード設定時は、オートライティングオプティマイザ、高輝度側・階調優先、露出 Simulation は、[しない] 設定で撮影されます。

リモートライブビュー画面の機能

パソコンの画面上で被写体を見ながらピントを合わせたり、カメラの設定内容確認など、**[リモートライブビュー画面]** の各種機能について説明します。

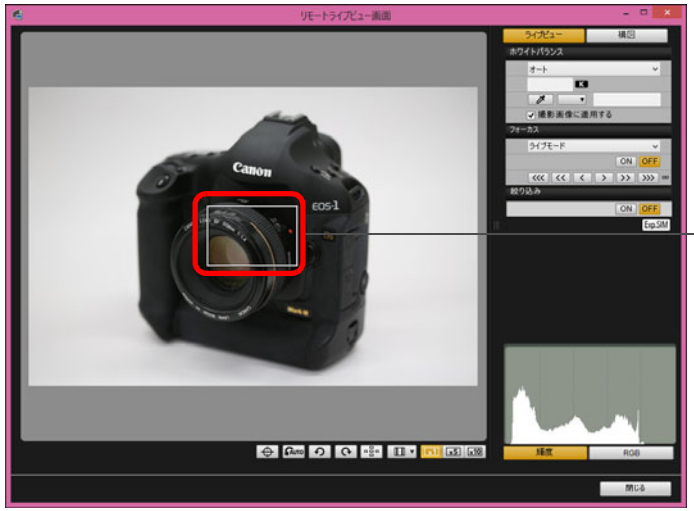
巻末のリモートライブビュー画面の機能一覧（p.84、p.85）もあわせてご確認ください。

手動ピント合わせ

[リモートライブビュー画面] で拡大した画像を見ながら、手動でピント合わせを行うことができます。

1 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする

2 拡大したい箇所に [□] をドラッグする



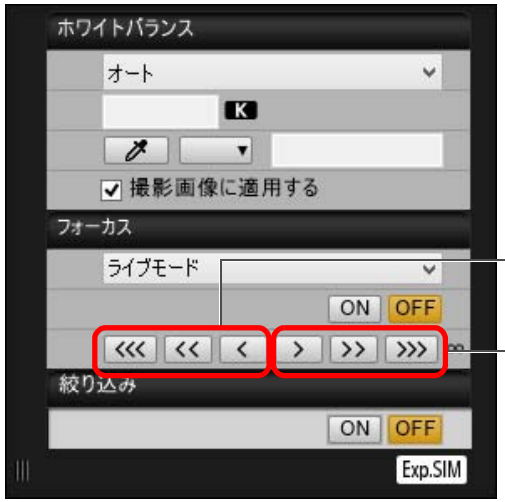
3 [x5] または [x10] ボタンを押す

➜ 手順 2 で選んだ箇所が、**[拡大表示]** 画面に拡大表示されます。

拡大表示画面

- **[拡大表示]** 画面で表示位置を移動するときは、[◀]、[▲]、[▼]、[▶] のいずれかを押します。また、画面をドラッグしても、表示位置を移動させることができます。
- 手順 2 で拡大したい箇所をダブルクリックして、**[拡大表示]** 画面に 5x で拡大表示させることもできます。
- **[拡大表示]** 画面で画像をダブルクリックすると、**[リモートライブビュー画面]** に戻ります。

4 ピントを合わせる



- [⋘]、[⋙]：調整量　大
- [≪]、[≫]：調整量　中
- [＜]、[＞]：調整量　小

➜ 調整したピント位置に応じて、**[リモートライブビュー画面]** もリアルタイムで変わります。

キーボードのキー操作でピントを合わせることもできます。

調整量	近くに	遠くに
大	〈I〉	〈O〉
中	〈K〉	〈L〉
小	〈<〉	〈>〉

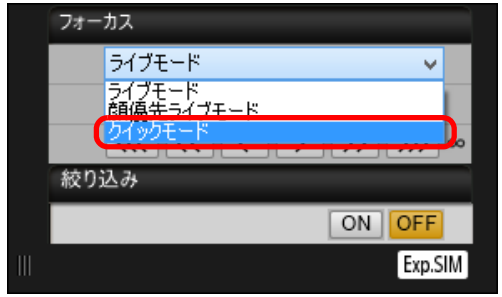
AF によるピント合わせ

カメラでの操作と同じように、クイックモード、ライブモード、顔優先ライブモードなどの各 AF モードで、自動的にピント合わせを行うことができます。

クイックモードによるピント合わせ

1D X　1D C　5D Mk III　6D

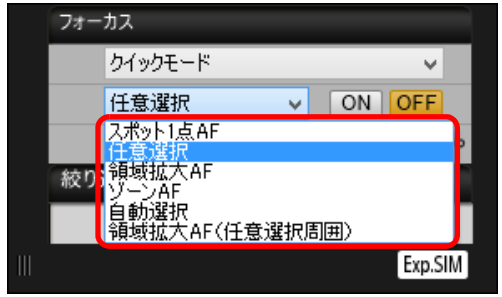
1 リストボックスから **[クイックモード]** を選ぶ



➜ AF フレームが表示されます。

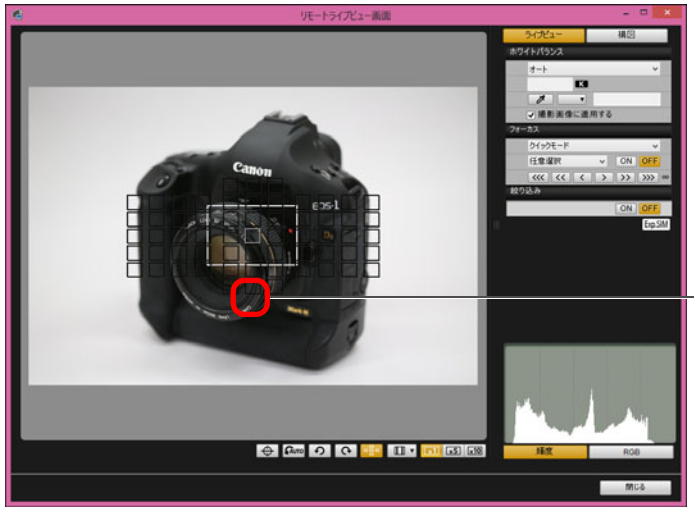
- 接続するカメラによって、選べる内容は異なります。
- [⊞] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 リストボックスから、AF フレームの選択方法を選ぶ



- カメラの設定により、選べる内容は異なります。

3 ピントを合わせたい位置にある AF フレームをクリックする



- 手順 2 で［**自動選択**］を選んでいるときは、すべての AF フレームが自動的に選ばれた状態になります。
- 手順 2 で［**任意選択**］を選んでいるときは、選べる AF フレームのみが表示されます。

4 ［ON］ボタンを押す

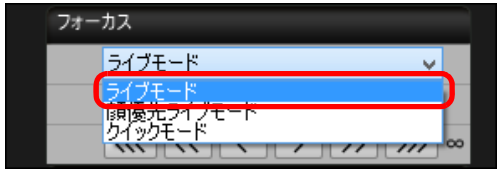
→ AF が行われます。
→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームの色が変わります。

［縦位置 / 横位置の AF フレーム設定］を［別々に設定］に設定しているときは、［同じ］に設定してください。［別々に設定］に設定していると、［リモートライブビュー画面］上で、AF によるピント合わせが正しく行われないことがあります。

- AF フレームをダブルクリックしても、AF が行われます。
- AF 動作を中止するときは、［**OFF**］ボタンを押します。

ライブモードによるピント合わせ

1 リストボックスから［ライブモード］または、［ライブ 1 点 AF］を選ぶ

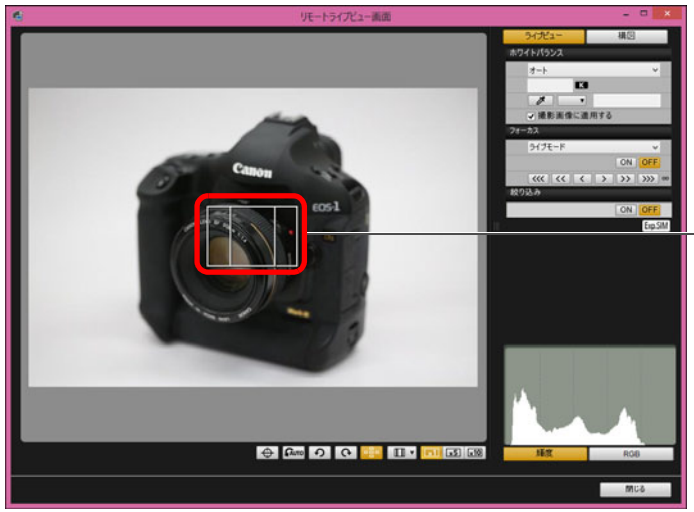


➜ AF フレームが表示されます。

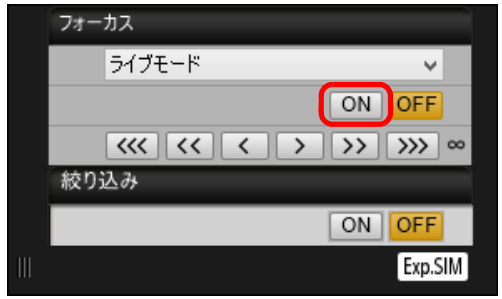
● 7D Mk II は［コンティニュアス AF］のチェックボックスで、コンティニュアス AF の ON/OFF を選択することができます。なお、［コンティニュアス AF］のチェックボックスは、動画撮影時には、［動画サーボ AF］の ON/OFF チェックボックスに切り替わります。

● [ ] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 拡大表示枠をドラッグして、ピントを合わせたい位置に動かす



3 ［ON］ボタンを押す



➜ AF が行われます。

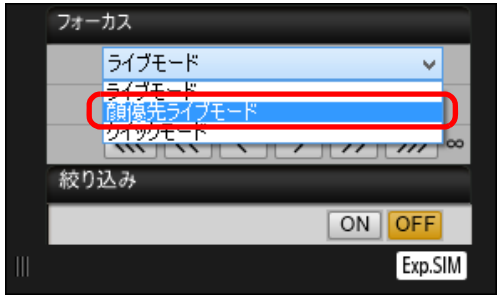
➜ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

● ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

顔優先ライブモードによるピント合わせ

1D X　1D C　5D Mk III　6D

1 リストボックスから［顔優先ライブモード］を選ぶ

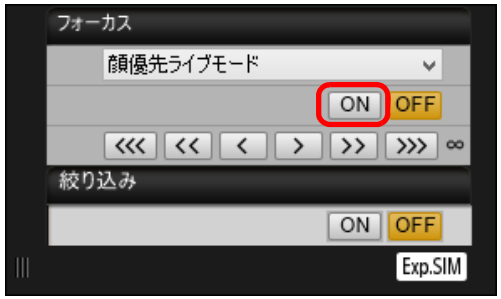


→ 顔を検知すると、AF フレームが表示されます。

● カメラが検知している顔が他にもあるときは、その顔の位置にカーソルを重ねると、新しい AF フレームが表示されます。その位置でクリックすると、その AF フレームが選ばれます。

● [ ] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ［ON］ボタンを押す



→ AF が行われます。

→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

● ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

● 顔を検知できないときは、AF フレームを中央に固定してピント合わせが行われます。

顔＋追尾優先 AF によるピント合わせ

7D Mk II

1 ［フォーカス］のリストボックスから［顔＋追尾優先 AF］を選ぶ

→ 顔を検知すると AF フレームが表示されます。

● 顔が動くと AF フレームも動いて顔を追尾します。

● カメラが検知している顔が他にもあるときは、その顔の位置にカーソルを重ねると、新しい AF フレームが表示されます。その位置でクリックすると、その AF フレームが選ばれます。

● ［コンティニュアス AF］のチェックボックスで、コンティニュアス AF の ON/OFF を選択することができます。なお、［コンティニュアス AF］のチェックボックスは、動画撮影時には、［動画サーボ AF］の ON/OFF チェックボックスに切り替わります。

● [ ] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ［フォーカス］の［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。

→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

● ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

● 顔が検知されないときは、［ライブ多点 AF］（p.42）に切り換わります。

ライブ多点 AF によるピント合わせ

7D Mk II

動いている被写体にピントを合わせやすい AF 方式です。広いエリアでのピント合わせができます。また、そのエリアをゾーンに分けてピント合わせすることもできます。

1 ［フォーカス］のリストボックスから［ライブ多点 AF］を選ぶ

→ AF フレームが表示されます。

- 画面をクリックすると AF フレームのゾーンの選択ができます。選択したゾーンを解除するには、［フォーカス］のリストボックスから、再度［ライブ多点 AF］を選択しなおします。
- ［コンティニュアス AF］のチェックボックスで、コンティニュアス AF の ON/OFF を選択することができます。なお、［コンティニュアス AF］のチェックボックスは、動画撮影時には、［動画サーボ AF］の ON/OFF チェックボックスに切り替わります。
- ［ ］ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ［フォーカス］の［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。

→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

- ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。
- アスペクト比の設定や、撮影画像（静止画 / 動画）によって、AF フレームやゾーンの数が異なります。

被写界深度と露出の確認

［リモートライブビュー画面］上で、被写界深度と露出を確認することができます。

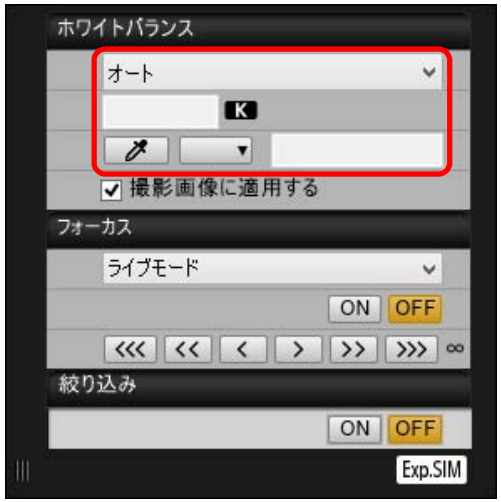
［ON］ボタンを押す

→ キャプチャー画面（p.81）の設定値で絞り込み（露出シミュレーション）が行われます。

リモートライブビュー画面のホワイトバランス

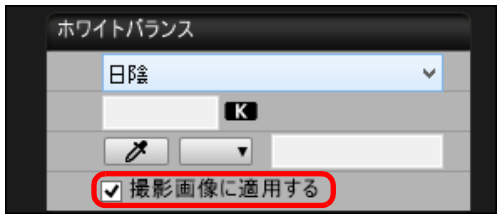
［リモートライブビュー画面］に表示された画像のホワイトバランスを変更し、カメラに登録することができます。

1 画像に適用するホワイトバランスを選ぶ



➜ 選んだホワイトバランスがリアルタイムで表示される画像に適用され、［リモートライブビュー画面］で確認することができます。

2 ［撮影画像に適用する］をチェックする



➜ 選んだホワイトバランスがカスタムホワイトバランスとしてカメラに登録され、撮影する画像に適用されます。

水準器を表示する

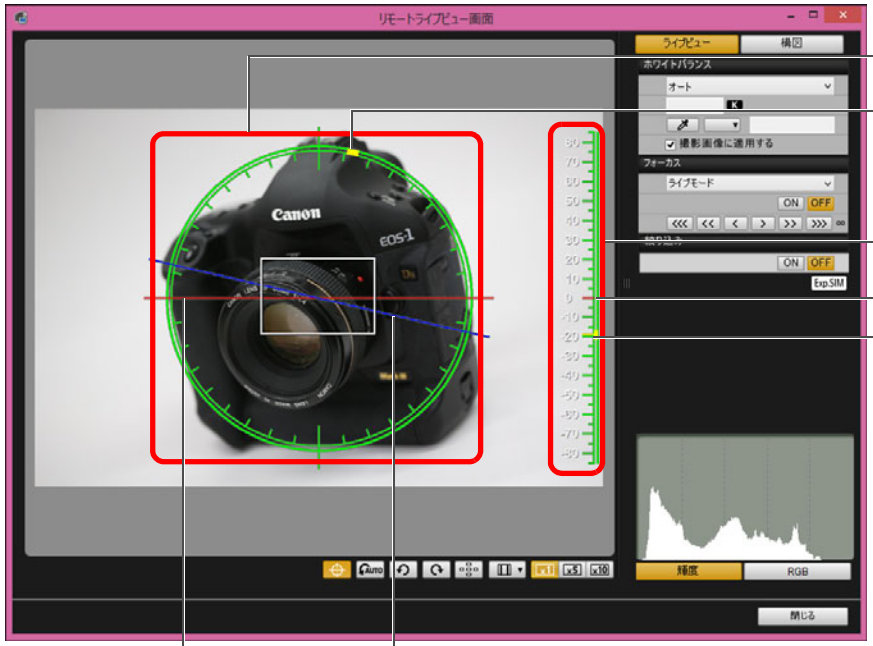
［リモートライブビュー画面］に水準器を表示して、カメラの傾きを確認することができます。

1 ［リモートライブビュー画面］の［ ］ボタンを押す

→［リモートライブビュー画面］に水準器が表示されます。

2 カメラの傾きを確認する

●接続するカメラによって、表示される内容が異なる場合があります。



水平方向水準器
カメラの天頂位置
垂直方向水準器
垂直基準
カメラ垂直位置
水平基準
カメラの水平位置

※ 水平方向の 1 目盛は 10°、垂直方向の 1 目盛は 5°です。

●水平方向の傾きを補正するときは、カメラの水平位置と水平基準が一致するようにカメラを動かします。

● 1D X 1D C 5D Mk III 7D Mk II
垂直方向の傾きを補正するときは、カメラの垂直位置と垂直基準が一致するようにカメラを動かします。

●水準器を消すときは、［ ］ボタンをもう一度押します。

●動画撮影中は、水準器の表示はされません。
●傾きがほぼ補正された状態でも± 1°程度の誤差が生じることがあります。
●カメラが大きく傾いているときは、水準器の誤差が大きくなります。

アスペクト比を変える

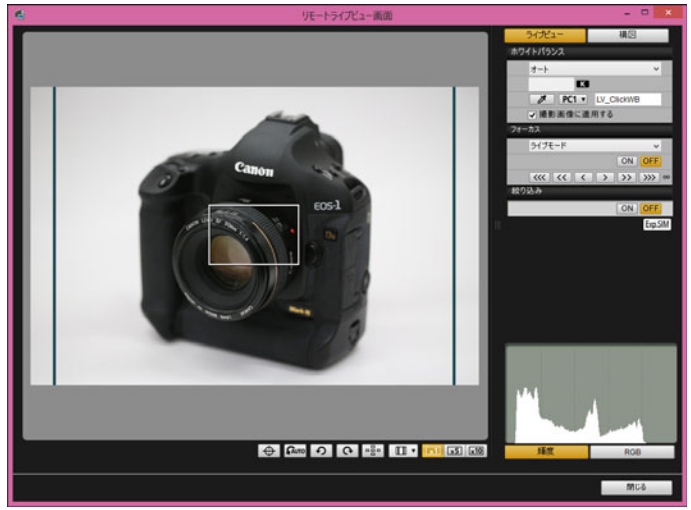
カメラのライブビュー機能と同じように、6 × 6cm、6 × 4.5cm、4 × 5inch など、フィルム式の中判／大判カメラと同じような感覚で撮影することができます。接続するカメラによって以下のような違いがあります。

- 6D
  RAW 画像は、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけでトリミングされませんが、JPEG 画像はトリミングされます。
- 1D X 1D C
  RAW 画像、JPEG 画像共に、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけでトリミングされません。
- 5D Mk III 7D Mk II
  次の 2 モードを選択することができます。
  [アスペクト比情報]：　撮影した JPEG 画像をトリミングするモード
  [トリミング情報の付加]：撮影した JPEG 画像にアスペクト比情報を付加するだけで、トリミングしないモード
  どちらのモードを選択しても、RAW 画像は、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけで、トリミングされません。

1D X 1D C 6D

1 [ ] ボタンを押して、アスペクト比を選ぶ

→ **[リモートライブビュー画面]** 上に、選んだアスペクト比の縦線が表示されます。



2 カメラを動かして構図を決める

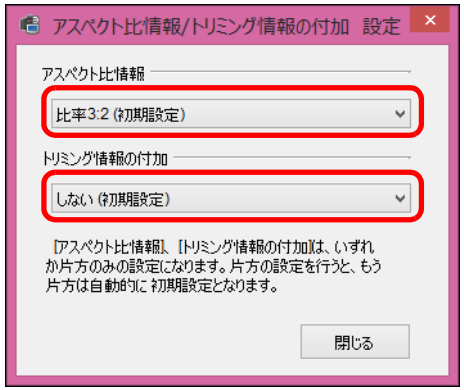
- アスペクト比を通常状態に戻すときは、[ ] ボタンを押してから、6D では元のアスペクト比を選び、それ以外のカメラでは **[しない]** を選びます。

5D Mk III　7D Mk II

1 [ ] ボタンを押す

➜ [アスペクト比情報 / トリミング情報の付加設定] 画面が表示されます。

2 [アスペクト比情報]、または [トリミング情報の付加] を設定する



- **[アスペクト比情報]** は撮影した JPEG 画像をトリミングするモードです。
- **[トリミング情報の付加]** は撮影した JPEG 画像にアスペクト比情報を付加するだけで、トリミングしないモードです。
- **[アスペクト比情報]、[トリミング情報の付加]** のどちらを選んでも、RAW 画像は、撮影画像にアスペクト比情報が付加されるだけで、トリミングされません。
- **[アスペクト比情報]、[トリミング情報の付加]** は、いずれか片方のみの設定になります。片方の設定を行うと、もう片方は自動的に初期設定となります。
- **[閉じる]** ボタンを押すと、設定が完了します。

3 カメラを動かして構図を決める

録音の設定

リモートライブビュー撮影で動画撮影時の録音レベルの設定を行うことができます。

カメラが P/Tv/Av/M/B の撮影モードの時のみ設定が可能です。カメラ本体使用説明書の「録音の設定」に該当するページもあわせてご確認ください。

1 [リモートライブビュー画面] の録音エリアの [設定] ボタンを押す

➜ [録音設定] 画面が表示されます。

2 設定を行う

- リストボックスから、**[オート]**、**[マニュアル]**、**[しない]** を選択します。
- 設定が完了したら、**[閉じる]** ボタンを押して **[録音設定]** 画面を閉じます。
- 6D 7D Mk II 接続時はアッテネータ設定のチェックボックスが表示されます。大音響の環境では **[録音]** を **[オート]** または **[マニュアル]** に設定して撮影しても音割れすることがあります。そのときは、アッテネータ機能のチェックボックスにチェックして、アッテネータ機能を ON にすることをおすすめします。

録音 / 録音レベルについて

[オート]：　音の大きさに応じて、録音レベルが自動調整されます。**[オート]** 選択時は、ウィンドカット機能のみ設定できます。

[マニュアル]：上級者向けの機能です。録音レベルを任意に調整することができます。
レベルメーターを見ながら録音レベルスライダーをドラッグすることで、録音レベルを調整することができます。音量が大きいときに、レベルメーターの「12」（− 12dB）の右側が、時々点灯するように、ピークホールド機能（約 3 秒間）を参考にして調整します。「0」を超えると音が割れます。

[しない]：　録音は行われません。

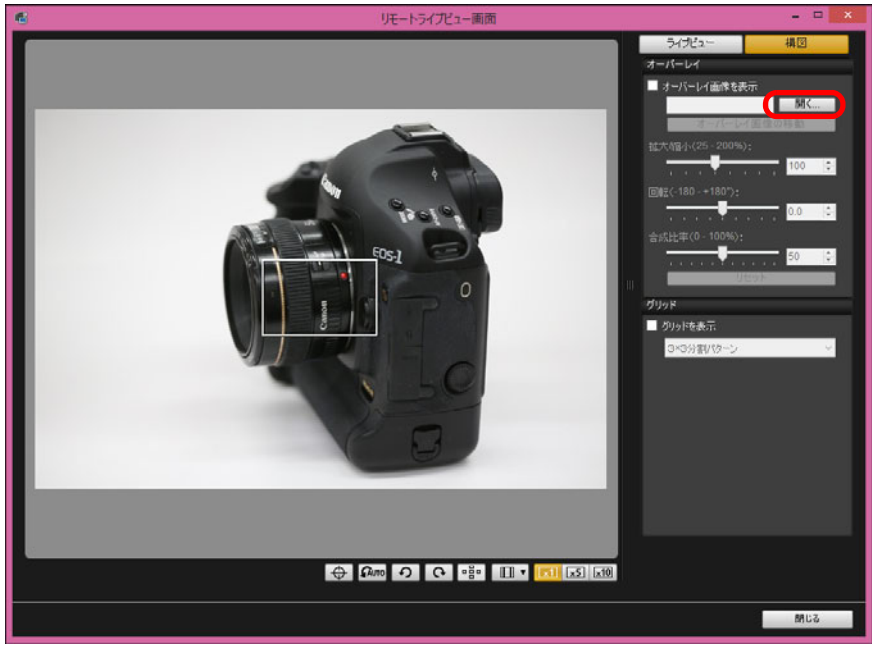
ウィンドカット機能について

屋外で撮影する際、風の影響により発生する「ボコボコ」という音を低減したい場合は、ウィンドカット機能のチェックボックスにチェックして、ウィンドカット機能を ON にします。内蔵マイク使用時のみ機能します。ただし、ウィンドカット機能が ON になると、低い音の一部も低減されるため、風の影響を受けない場所ではチェックを外して、ウィンドカット機能を OFF にすることをおすすめします。

オーバーレイ表示機能

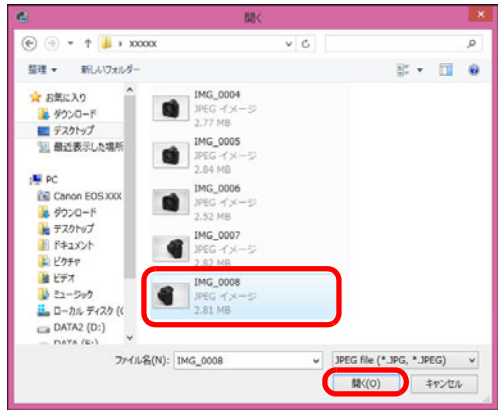
［リモートライブビュー画面］に表示される撮影画像に、パソコン内に保存されている別の画像を重ねて（オーバーレイ）表示することができます。アングルを正確に揃えることができるので、商品撮影など複数の画像を同一アングルに揃えたいときに便利です。なお、パソコンから読み込んだ画像は、表示されるだけで撮影されません。

1 ［リモートライブビュー画面］の［構図］タブを選び、［オーバーレイ］の［開く］ボタンを押す



➜［開く］画面が表示されます。

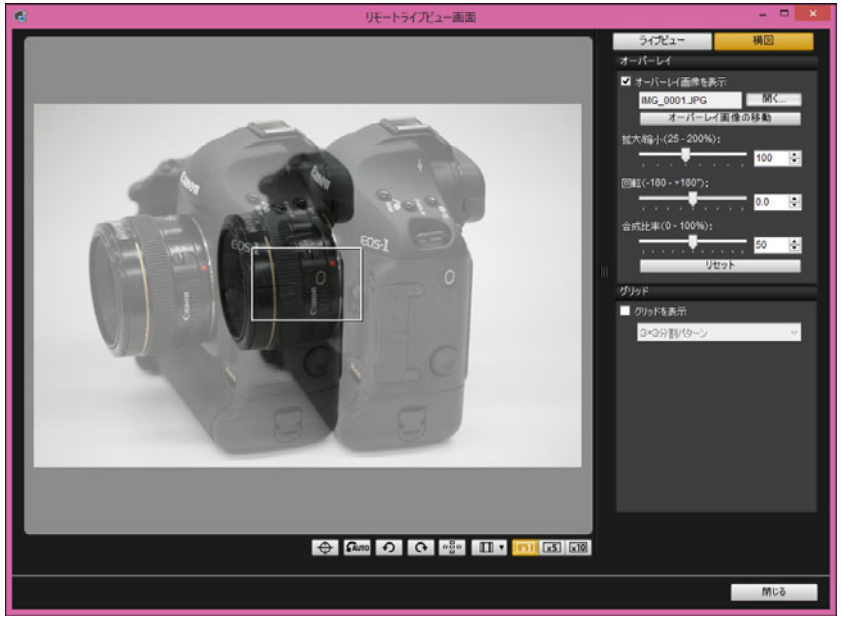
2 重ねて表示したい画像を選び、［開く］ボタンを押す



➜［開く］画面が表示されます。

- 重ねて表示できるのは、RAW*、JPEG、TIFF、BMP（ビットマップ）、GIF 画像です。
  - *・重ねて表示できる RAW 画像は、キヤノンのカメラで撮影された「.CR2」の拡張子が付いた画像のみです。
  - ・Digital Photo Professional Ver.4.x で、画像調整を行った画像でも、撮影時の状態の画像が表示されます。
- 対応しているファイル形式であっても、重ねて表示できないことがあります。

➜［オーバーレイ画像を表示］にチェックが入り、［リモートライブビュー画面］に選んだ画像が重ねて表示されます。



● 重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、拡大 / 縮小、回転、合成比率の調整を行って表示することができます。（p.50）

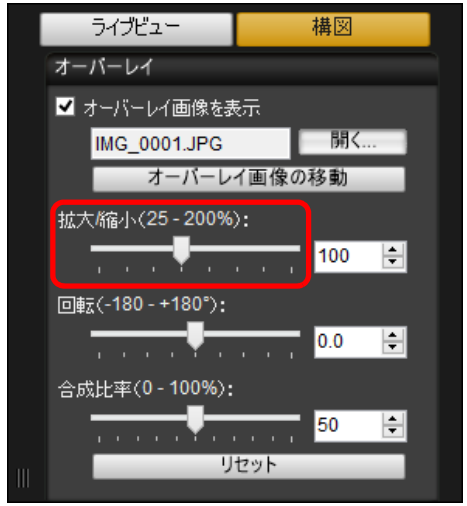
3 カメラや被写体を動かして、構図を決める

● **[拡大表示]** 画面ではオーバーレイ表示機能を使用することはできません。

オーバーレイ画像を拡大／縮小表示する

重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、25 ～ 200%までの範囲で、拡大／縮小表示を行うことができます。拡大／縮小表示の設定には、拡大／縮小スライダーを使用します。

拡大／縮小スライダーを左右にドラッグして設定する



➜ 拡大／縮小スライダーで設定した拡大／縮小率が、オーバーレイ表示に反映されます。

● 直接数値を入力することで、拡大／縮小率の設定をすることもできます。

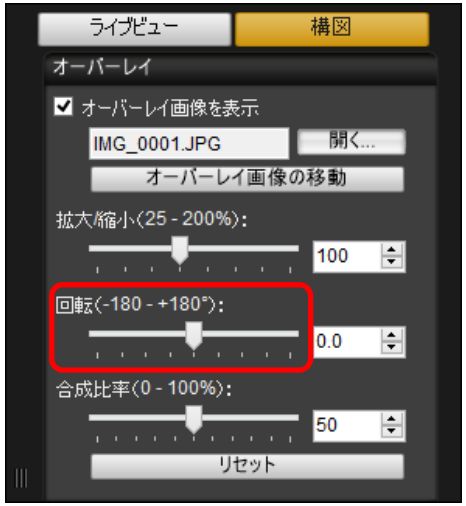
● カーソルをスライダーに重ねてクリックし、キーボードの〈←〉／〈→〉キーを押すか、マウスのホイール操作で設定することもできます。

● **[リセット]** ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

オーバーレイ画像を回転表示する

重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、-180°～+180°の範囲で、回転表示を行うことができます。回転表示の設定には、回転スライダーを使用します。

回転スライダーを左右にドラッグして設定する



➜ 回転スライダーで設定した回転角度が、オーバーレイ表示に反映されます。

● 直接数値を入力することで、回転角度の設定をすることもできます。

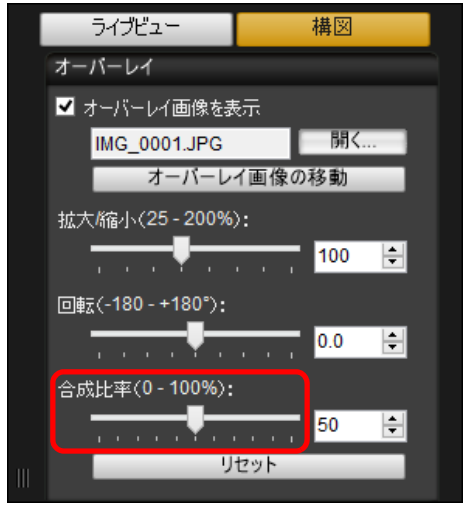
● カーソルをスライダーに重ねてクリックし、キーボードの〈←〉／〈→〉キーを押すか、マウスのホイール操作で設定することもできます。

● **[リセット]** ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

オーバーレイ画像の合成比率を設定する

重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）は、0～100%までの範囲で、合成比率（透過率）を設定することができます。合成比率の設定には、合成比率スライダーを使用します。

合成比率スライダーを左右にドラッグして設定する



➜ 合成比率スライダーで設定した合成比率が、オーバーレイ表示に反映されます。

● 直接数値を入力することで、合成比率の設定をすることもできます。

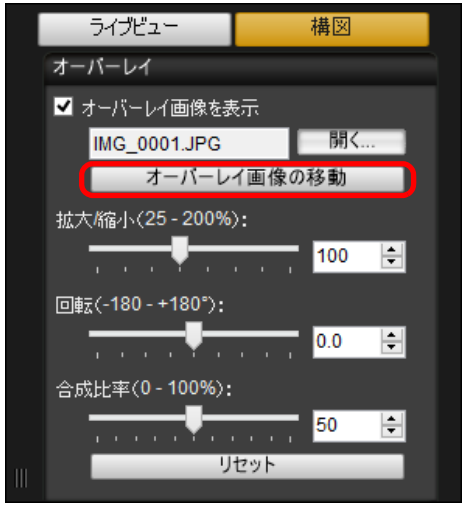
● カーソルをスライダーに重ねてクリックし、キーボードの〈←〉／〈→〉キーを押すか、マウスのホイール操作で設定することもできます。

● **[リセット]** ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

オーバーレイ画像を移動表示する

［リモートライブビュー画面］に重ねて表示した画像（オーバーレイ画像）を、移動表示することができます。また、マウスカーソル操作により、拡大／縮小表示、回転表示を行うこともできます。

1 ［オーバーレイ画像の移動］ボタンを押す



2 オーバーレイ画像の上でマウスカーソルをドラッグする

→ オーバーレイ画像が移動表示されます。

- ［リモートライブビュー画面］上のオーバーレイ画像以外の部分で、マウスでカーソルをドラッグすると、オーバーレイ画像の回転表示を行うことができます。
- オーバーレイ画像の四隅で、マウスでカーソルをドラッグすると、オーバーレイ画像の拡大／縮小表示を行うことができます。
- ［リセット］ボタンを押すと、初期状態にリセットされます。

別の画像をオーバーレイ表示する

重ねて表示している画像（オーバーレイ画像）を、別の画像に切り換えて表示することができます。

1 ［オーバーレイ］の［開く］ボタンを押す

→［開く］画面が表示されます。

2 ［開く］画面で切り換えたい画像を選び、［開く］ボタンを押す

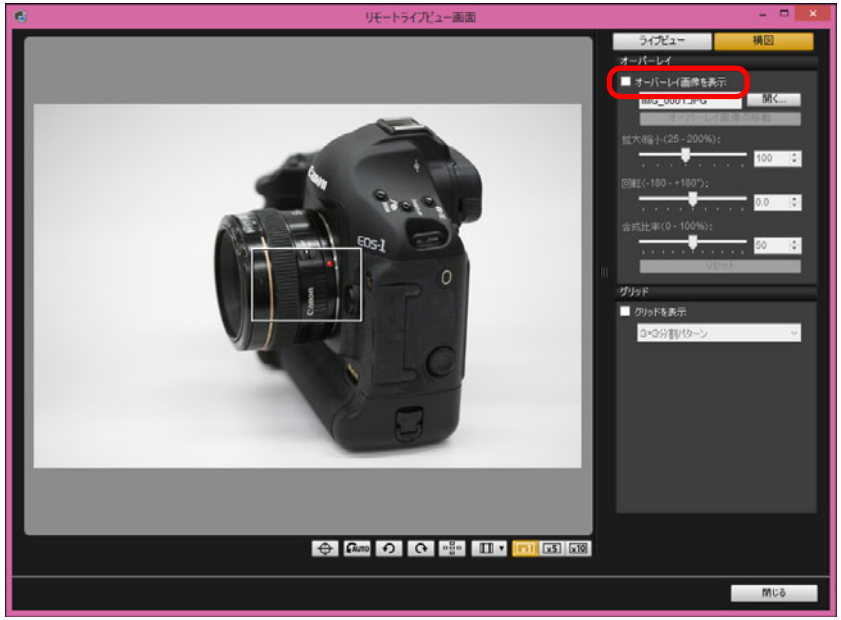
→ 表示されていた画像が、選んだ画像に切り換わります。

オーバーレイ画像を非表示にする

重ねて表示している画像（オーバーレイ画像）を、非表示にします。

1 ［オーバーレイ画像を表示］のチェックを外す

➜ オーバーレイ画像が非表示になります。

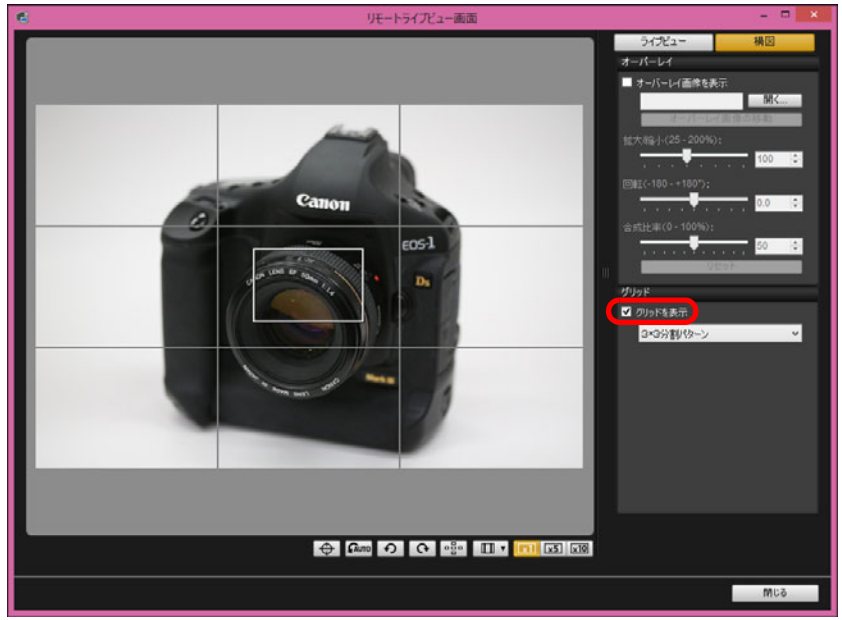


● ［オーバーレイ画像を表示］にチェックすると、オーバーレイ画像が再度表示されます。

グリッド線を表示する

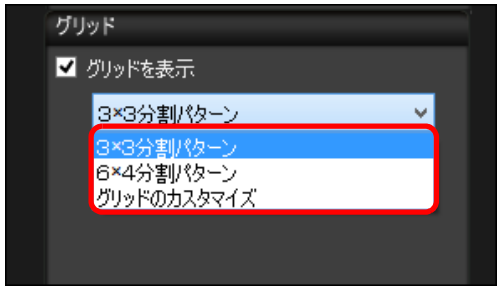
カメラのライブビュー機能と同じように、［リモートライブビュー画面］にグリッド線を表示して、カメラの水平／垂直を確認することができます。

1 ［構図］タブを選び、［グリッド］の［グリッドを表示］チェックボックスにチェックする



➜ ［リモートライブビュー画面］にグリッド線が表示されます。

2 [グリッド] のリストボックスから、グリッド線の表示方法を選ぶ



- **[グリッドのカスタマイズ]** を選ぶと、次の項目を設定することができます。
  - ・縦方向、横方向のグリッド分割数（2 ～ 90）
  - ・グリッド線の太さ（1 ～ 10）
  - ・グリッドの色
  - ・対角線の表示 / 非表示

3 カメラを動かして、水平／垂直を確認する

- グリッド線を消すときは、**[グリッドを表示]** のチェックを外します。

カメラ操作による撮影

リモート撮影の状態でも、カメラ単独での撮影と同じように、カメラを操作して撮影することができます。また、撮影画像はパソコンのハードディスクに保存されるため、メモリーカードの容量を気にせず、大量の撮影を行うことができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.29)

2 カメラのシャッターボタンを押して撮影する

→ 撮影した画像がパソコンに転送されて DPP が自動的に立ち上がり、撮影した画像が表示されます。

[リモートライブビュー画面] が表示されているときは、カメラ操作を行うことはできません。ライブビュー撮影ボタンを押してカメラの液晶モニターにライブビュー画像を表示させてから、カメラを操作してください。

動画の撮影

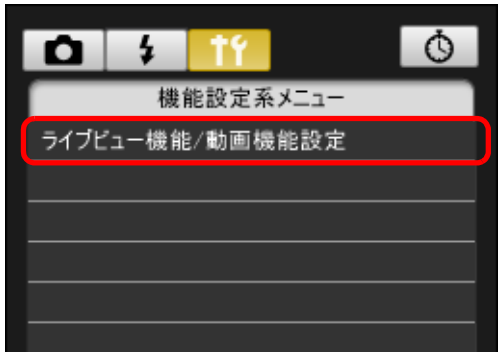
EU からカメラをコントロールして、パソコンの画面上で動画撮影を行うことができます。なお、カメラにメモリーカードが入っていないと、動画撮影はできません。

1D X　1D C

1 ライブビュー撮影の準備をする

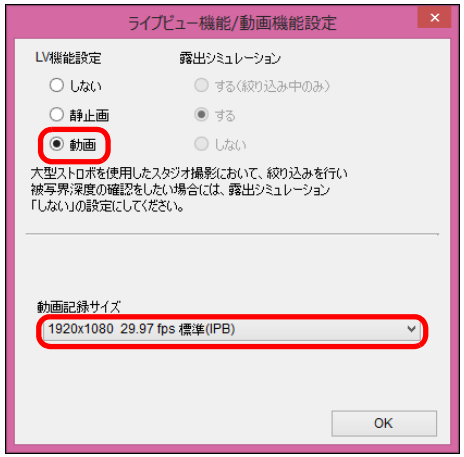
●「リモートライブビュー撮影」（p.29）の手順 1 ～ 2 を行います。

2 ［ライブビュー機能／動画機能設定］をクリックする



➜［ライブビュー機能／動画機能設定］画面が表示されます。

3 ［LV 機能設定］の［動画］を選び、動画記録サイズをリストボックスから選ぶ



● 1D X　1D C では、以下のような動画の圧縮形式が選べます。

・ALL-I (I-only)：1 フレーム単位で圧縮して記録します。IPB よりもファイルサイズが大きくなりますが、撮影後の編集作業に適しています。

・IPB：複数のフレーム単位で効率的に圧縮して記録します。ALL-I よりもファイルサイズが小さくなるため、撮影できる時間が長くなります。

● 1D C

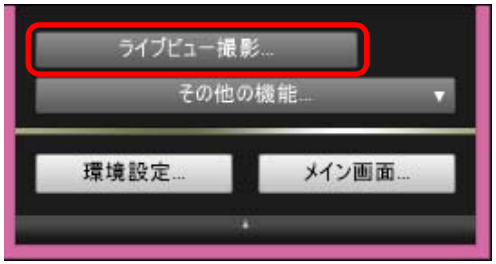
・MJPG：4K（4096 × 2160 画素）動画撮影時は Motion JPEG 形式で圧縮して記録されます。
フレーム間の圧縮を行わず、1 フレーム単位で圧縮して記録するため、圧縮率が低くなります。
また、画像サイズも大きいため、ファイルサイズが大きくなります。

● 1D C 接続時、カメラに Canon Log ガンマの設定が行われている場合は、リモートライブビュー画面に、Canon Log ガンマ設定表示と、［V.Assist］（ビューアシスト）ボタンが表示されます。（p.84、p.85）
Canon Log ガンマは、広いダイナミックレンジを確保することを目的とした映像特性のため、リモートライブビュー画面に表示される映像は、ピクチャースタイル設定時に比べ、低コントラストでやや暗い映像になります。
［V.Assist］（ビューアシスト）ボタンを押すと、リモートライブビュー画面に表示される映像が見やすい特性で表示され、画角やディテールなどを確認しやすくなります。
なお、［V.Assist］（ビューアシスト）ボタンを押しても、カードに記録される映像には影響しません（Canon Log ガンマの特性でカードに記録されます）。

4 ［OK］ボタンを押す

➜［ライブビュー機能／動画機能設定］画面が閉じます。

5 ［ライブビュー撮影］ボタンを押す



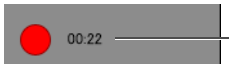
→［リモートライブビュー画面］が表示されます。

● 1D X 1D C では、必要に応じて録音の設定を行います。
録音の設定方法については、「録音の設定」（p.46）を参照してください。

6 ピントを合わせる（p.37、p.38）

7 ［●］ボタンを押して撮影を開始する

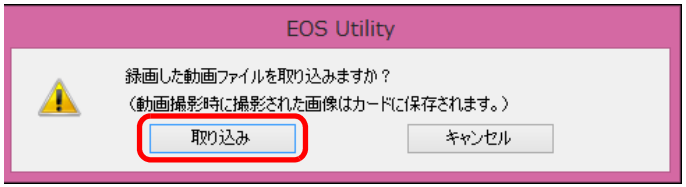
→［リモートライブビュー画面］の左下に、［●］マークと録画時間が表示されます。



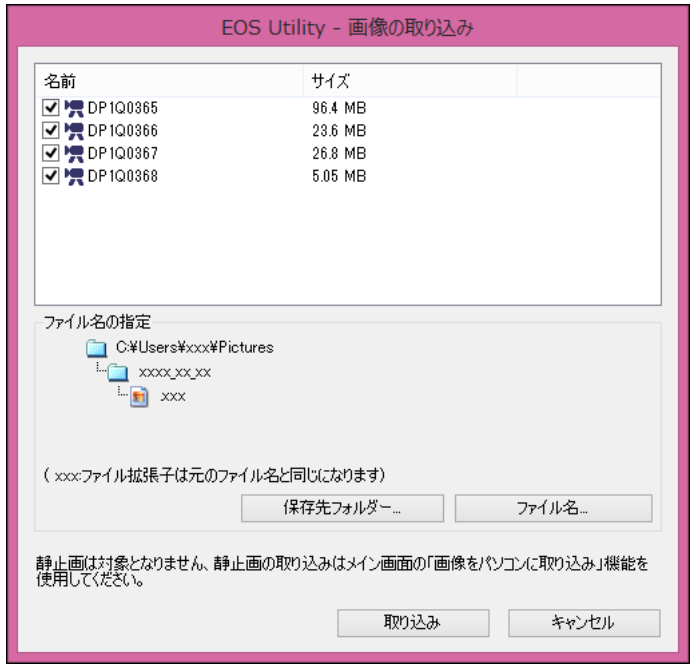
録画時間

●［●］ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

→［リモートライブビュー画面］を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない動画ファイルがあるときは、次の画面が表示されます。



● ［取り込み］ボタンを押すと、動画モードで撮影した動画ファイル名の一覧画面が表示されます。



［保存先フォルダー］と［ファイル名］を指定したあと、画面の［取り込み］ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに動画ファイルが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した動画ファイルは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに動画ファイルを取り込むときは、本使用説明書のp.10～p.14に記載されている方法で取り込んでください。

5D Mk III　6D　7D Mk II

1 ライブビュー撮影の準備をする

- 「リモートライブビュー撮影」（p.29）の手順 1 ～ 2 を行います。
- 5D Mk III　6D　7D Mk II では、カメラのライブビュー撮影／動画撮影スイッチは〈 〉にセットしてください。

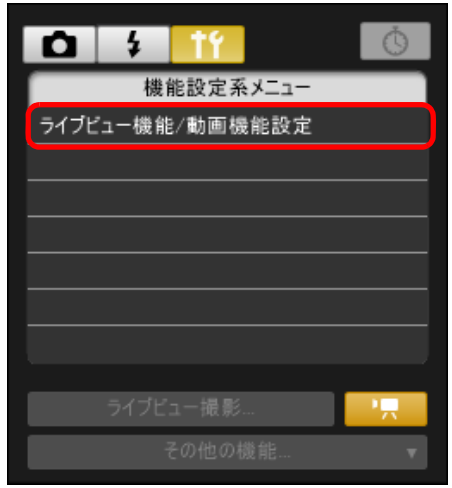
2 [ ] ボタンを押す

→ **[リモートライブビュー画面]** が表示されます。

- 5D Mk III　6D　7D Mk II では、必要に応じて録音の設定を行います。
  録音の設定方法については、「録音の設定」（p.46）を参照してください。

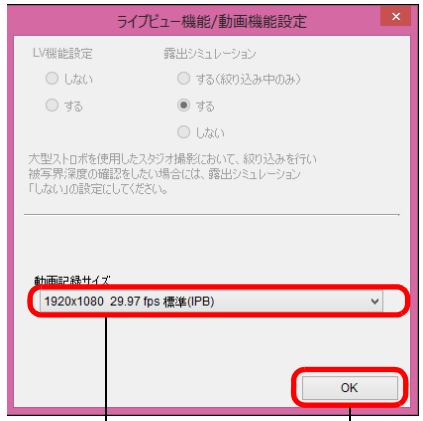
- [ ] ボタンが押されている間は、カメラ本体の操作はできません。カメラ本体の操作を行いたいときは、[ ] ボタンをもう一度押すか、**[リモートライブビュー画面]** を閉じてください。
- 6D(WG)　6D(W) と EU を無線で接続している場合は、リモートライブビューで動画撮影を行うことはできません。

動画記録サイズの設定をするときは、**[ライブビュー機能／動画機能設定]** をクリックし、**[ライブビュー機能／動画機能設定]** 画面を表示させて行います。

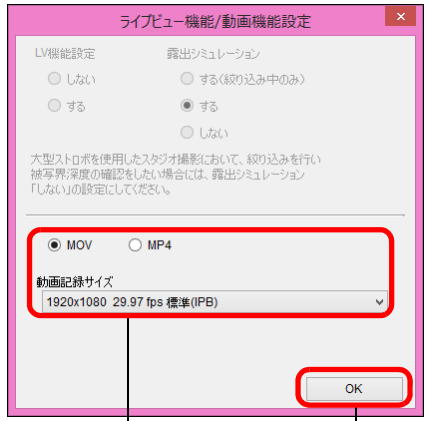


- 接続するカメラによって、表示される内容が異なる場合があります。

5D Mk III　6D



7D Mk II



- 選べる動画記録サイズは、カメラによって異なります。

- 5D Mk III 6D 7D Mk II では、以下のような動画の圧縮形式が選べます。
  - ・ALL-I（I-only）：1 フレーム単位で圧縮して記録します。IPB よりもファイルサイズが大きくなりますが、撮影後の編集作業に適しています。
  - ・IPB/IPB（標準）：複数のフレーム単位で効率的に圧縮して記録します。ALL-I よりもファイルサイズが小さくなるため、撮影できる時間が長くなります。
  - ・IPB（軽量）7D Mk II：動画記録形式が［MP4］に設定されているときに選択できます。IPB（標準）よりもビットレートを低く抑えて記録するため、IPB（標準）よりもファイルサイズが小さく、再生互換性が高くなります。（同じ容量のカードであれば）3 つの方式の中で撮影できる時間が最も長くなります。
- 7D Mk II では、動画の記録形式を選ぶことができます。
  - ・MOV：MOV 形式の動画ファイルとして記録されます（拡張子：「.MOV」）。パソコンなどでの編集などに適しています。
  - ・MP4：MP4 形式の動画ファイルとして記録されます（拡張子：「.MP4」）。MOV 形式よりも再生互換性が高いファイル形式です。
- EU では 6D のビデオスナップ撮影はできません。

3 ピントを合わせる （p.37、p.38）

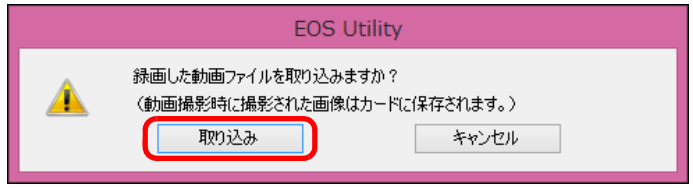
4 [●] ボタンを押して撮影を開始する

→［リモートライブビュー画面］の左下に、[●] マークと録画時間が表示されます。

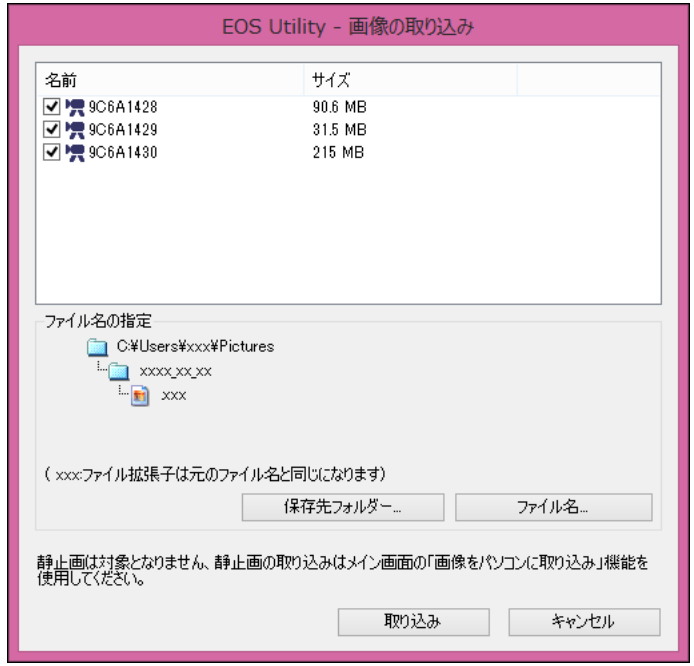
録画時間

- [●] ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。

→［リモートライブビュー画面］を閉じる際に、パソコンに取り込まれていない動画ファイルがあるときは、次の画面が表示されます。



- ［取り込み］ボタンを押すと、動画モードで撮影した動画ファイル名の一覧画面が表示されます。



［保存先フォルダー］と［ファイル名］を指定したあと、画面の［取り込み］ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに動画ファイルが取り込まれます。
なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した動画ファイルは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに動画ファイルを取り込むときは、本使用説明書の p.10 ～ p.14 に記載されている方法で取り込んでください。

タイマー制御による自動撮影

設定した時間や枚数でカメラが自動撮影する、2 種類のタイマー撮影を行うことができます。

タイマー撮影

設定した時間が経過すると自動的に 1 枚撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.30)

2 [ ] ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。

3 遅延時間を入力して [開始] ボタンを押す

- 設定時間の範囲は、1 秒単位で 0 分 0 秒～ 99 分 59 秒です。

→ 設定した時間が経過すると撮影されます。

リモートインターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔と撮影枚数にしたがって自動撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.30)

2 [ ] ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。

3 [リモートインターバルタイマー撮影を行う] をチェックする

4 撮影間隔と撮影枚数を入力する

- 撮影間隔の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。
- 撮影枚数は 2 枚から設定できます。また、設定できる撮影枚数は、パソコンのハードディスク空き容量によります。

5 [開始] ボタンを押す

→ 設定した時間の間隔で、設定枚数の撮影が行われます。

パソコンによっては、撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

[タイマー撮影設定] 画面を表示させると、撮影モードを変更することができなくなります。
撮影モードを設定後、[タイマー撮影設定] 画面を表示させてください。

リモートバルブ撮影

1 キャプチャー画面を表示する (p.30)

2 撮影モードアイコンをクリックして、[BULB] を選ぶ

● 1D X 1D C 以外では、以下のように設定してください。
- カメラのモードダイヤルに〈B〉(バルブ) があるカメラでは、〈B〉に設定してください。
- カメラのモードダイヤルに〈B〉(バルブ) がないカメラでは、カメラのモードダイヤルを〈M〉(マニュアル) に設定し、キャプチャー画面で [BULB] を選ぶか、カメラのシャッター速度を [BULB] に設定してください。

3 絞り数値を設定する

4 [ ] ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。

5 露光時間を入力して [開始] ボタンを押す

● 露光時間の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。

露光時間を設定せずに、[●] ボタンを押すことでリモートバルブ撮影を開始／終了させることもできます。

バルブタイマー設定

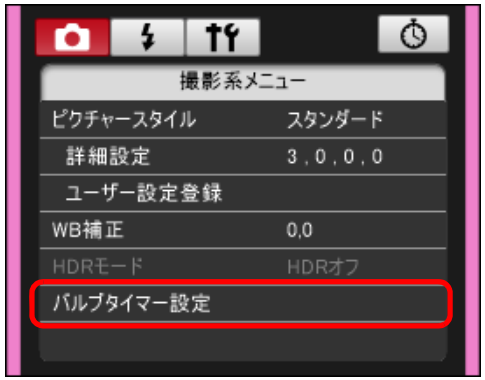
7D Mk II

バルブ撮影時の露光時間をあらかじめ設定することができます。この機能を使うと、バルブ撮影中にシャッターボタンを指で押している必要がなくなるため、カメラブレを低減することができます。なお、バルブタイマーは、〈B〉（バルブ）以外の撮影モードでは設定できません。

1 ライブビュー撮影の準備をする

●「リモートライブビュー撮影」（p.29）の手順 1 ～ 2 を行います。

2 [撮影系メニュー] の [バルブタイマー設定] を選択する

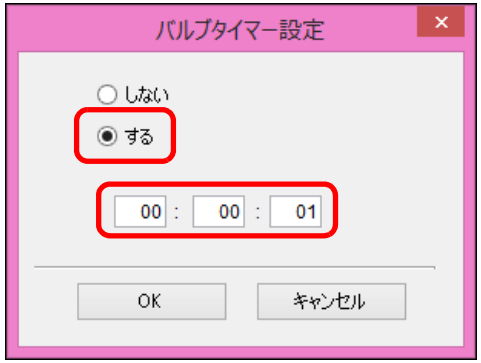


➜ [バルブタイマー設定] 画面が表示されます。

3 設定を行う

●[する] を選択します。

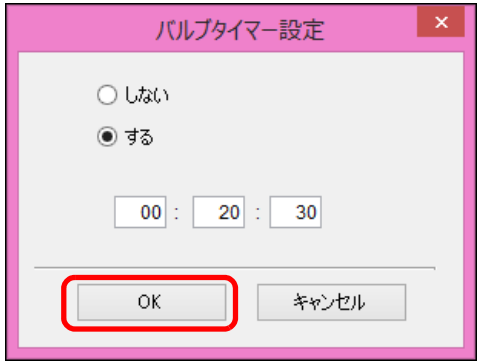
●露光時間を設定します。設定範囲は 00：00：00 ～ 99：59：59 です。



●[しない] を設定すると、次回のバルブ撮影時にバルブタイマーが OFF になります。

●露光時間を 00：00：00 に設定すると、[しない] に設定されます。

4 [OK] ボタンを押す



➜ カメラにバルブタイマーの設定が行われ、[バルブタイマー設定] 画面が閉じます。

ストロボ撮影

EU から、ストロボ設定機能に対応した EX スピードライト（別売）や、カメラのストロボ機能を設定して、ストロボ撮影を行うことができます。

なお、設定項目の詳細については、お使いの EX スピードライトやカメラの使用説明書を、あわせて参照してください。

1 カメラとストロボを準備する

●外部ストロボを使用するときは、カメラにストロボを取り付けます。

2 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる （p.6）

3 ［リモート撮影］をクリックする

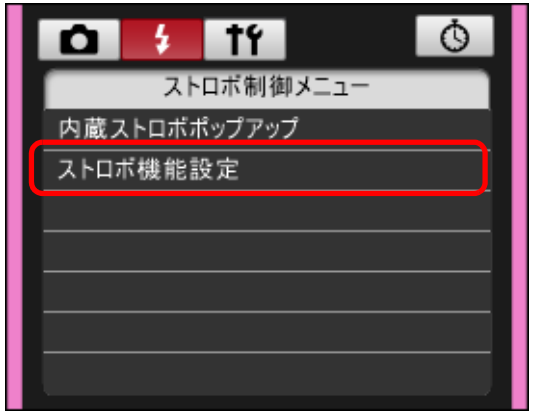
➜ キャプチャー画面が表示されます。

4 ［ ］ボタンを押す

➜ ［ストロボ制御メニュー］が表示されます。

5 ［ストロボ機能設定］をクリックする

ストロボ制御メニュー



➜［ストロボ機能設定］画面が表示されます。

［内蔵ストロボポップアップ］は、7D Mk II の内蔵ストロボを使用するときに選びます。

6 設定する

ストロボ機能設定画面

接続するカメラ、ストロボによって表示される画面が異なります。

チェックされていることを確認

設定項目をクリックして、表示されるメニューから設定項目を選ぶ *

［ワイヤレス機能］ボタン

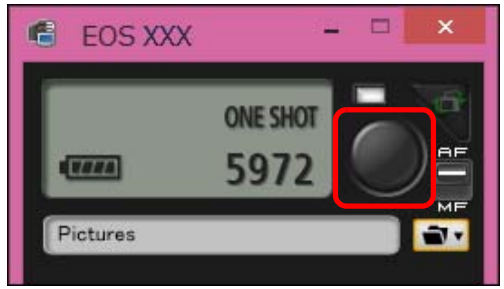
ワイヤレス機能を有効にして設定項目をクリックし、表示されるメニューから設定項目を選ぶ *

* 各設定項目の画面では、マウスのホイールを使って設定内容を選ぶこともできます。

カメラの液晶モニターにストロボ制御画面が表示されたときは、EU の［**ストロボ機能設定**］画面は自動的に閉じます。

- ［**モデリング発光**］ボタンを押すと、モデリング発光を行うことができます。なお、モデリング発光は連続 10 回までにしてください。（詳しくはストロボの使用説明書を参照してください。）
- ［ ］ボタンを押すと、［**ストロボ機能設定**］画面の表示内容がストロボの設定に同期した最新の状態に更新されます。（ストロボ本体で設定変更を行ったときは、変更内容が［**ストロボ機能設定**］画面に反映されないため、［ ］ボタンを押すことで、［**ストロボ機能設定**］画面をストロボ本体の設定にあわせた、最新の状態に更新することができます）
- ［**保存**］ボタンを押すと、ストロボ設定を、画像とは別のファイルとして、名前を付けて保存することができます。また、このファイルは、［**読み込み**］ボタンを押して EU に読み込み、他の撮影に使用することができます。
- ストロボ撮影とリモートライブビュー撮影（p.29）をあわせて行うこともできます。
  ただし、リモートライブビュー撮影時にモデリング発光を行うことはできません。
- ［**ストロボ機能設定**］画面で設定できる内容は、ストロボおよびカメラによって異なります。

7 ［●］ボタンを押して撮影する



→ 撮影した画像がパソコンに転送されて、［**クイックプレビュー**］画面に表示され、そのあと DPP が自動的に立ち上がります。

- キャプチャー画面の AF ／ MF 切り換えボタンが［**AF**］にセットされているときに、［●］ボタンにカーソルを重ねると、AF ／ AE が行われます。（p.81）
- DPP が立ち上がる前に表示される［**クイックプレビュー**］画面では、撮影した画像を素早く確認することができます。なお、［**クイックプレビュー**］画面の表示サイズは変更することができます。
- キャプチャー画面の［**その他の機能**］ボタンを押して、表示されるメニューから［**クイックプレビュー**］を選ぶと、［**クイックプレビュー**］画面を表示／非表示にすることができます。

- ［**ストロボ機能設定**］画面の機能一覧は、p.83 を参照してください。
- キーボードの〈スペース〉キーを押しても、撮影することができます。

カメラのメモリーカードに BGM を登録する

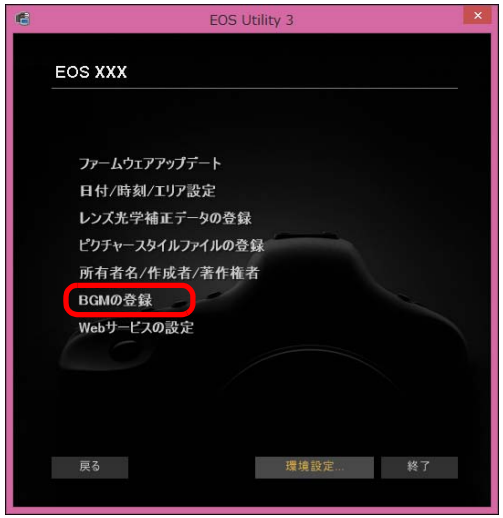
6D

パソコンに保存された WAV 形式の楽曲データを、カメラのメモリーカードに BGM として登録することができます。登録した BGM は、カメラでビデオスナップアルバムやスライドショーを再生するときに、一緒に再生することができます。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げ、[カメラの設定] をクリックする

→ カメラの設定画面が表示されます。

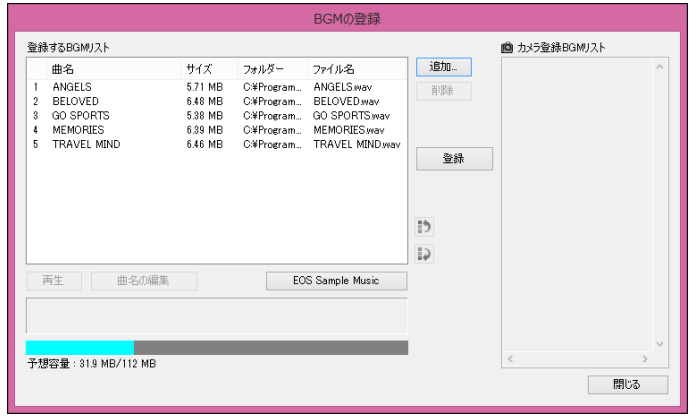
2 [BGM の登録] をクリックする



→ [BGM の登録] 画面が表示されます。

- 「EOS Sample Music」フォルダをパソコンにインストールしたときは、初回は EOS Sample Music の 5 曲が、[登録する BGM リスト] に表示されます。
- カメラが動画撮影モードのときは、BGM の登録を行うことはできません。

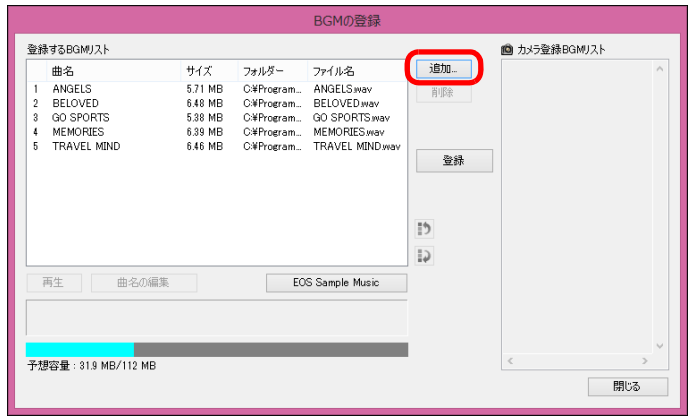
BGM の登録画面



3 [登録する BGM リスト] を編集する

新しい楽曲データを追加する

- [追加] ボタンを押すと表示される [開く] 画面で楽曲データを選び、[開く] ボタンを押します。

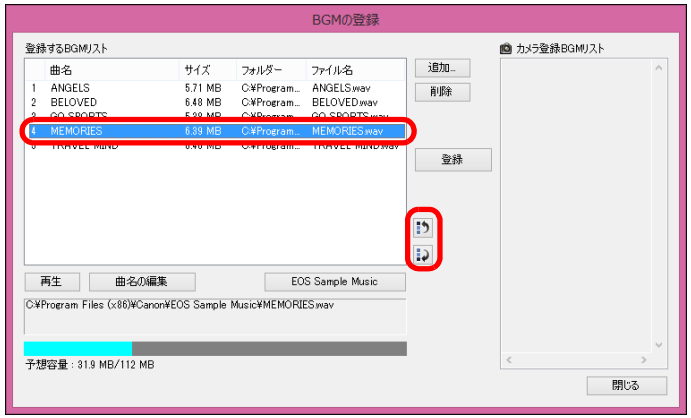


→ 楽曲データが [登録する BGM リスト] に追加されます。

- パソコン内の任意の場所に保存されている楽曲データを直接ドラッグ & ドロップして、[登録する BGM リスト] に追加することもできます。
- 楽曲データは 1 曲ずつしか追加できません。
- 1 曲の長さは 29 分 59 秒以内、また、最大 20 曲までしか追加できません。

楽曲データの再生順を並べ替える

● **[登録する BGM リスト]** から楽曲データを選び、[ ] ボタンまたは、[ ] ボタンを押します。

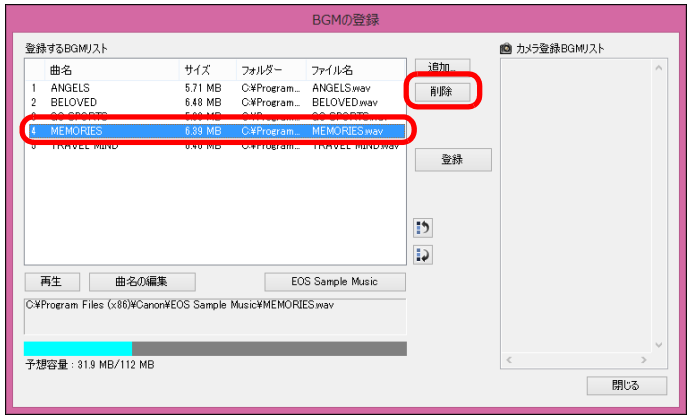


➜ 楽曲データの並び順が替わります。

● **[登録する BGM リスト]** の楽曲データをドラッグ & ドロップして、直接並べ替えることもできます。

楽曲データを削除する

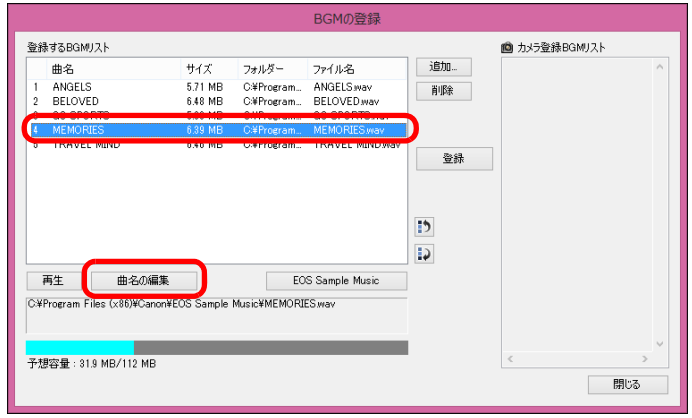
● **[登録する BGM リスト]** から楽曲データを選び、**[削除]** ボタンを押します。



➜ 楽曲データが **[登録する BGM リスト]** から削除されます。

楽曲データの曲名を編集する

● **[登録する BGM リスト]** から楽曲データを選び、**[曲名の編集]** ボタンを押すと表示される **[曲名の編集]** 画面で、半角英数字や記号で 25 文字までの曲名を入力し、**[OK]** ボタンを押します。

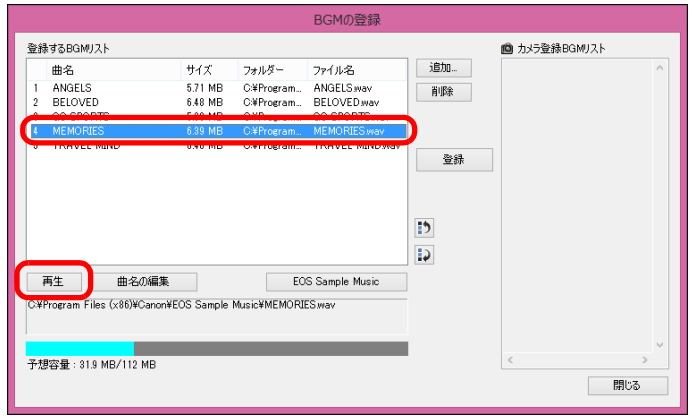


➜ 楽曲データの曲名が変更されます。

● **[登録する BGM リスト]** の楽曲データをダブルクリックしても、**[曲名の編集]** 画面を表示することができます。

楽曲データを再生する

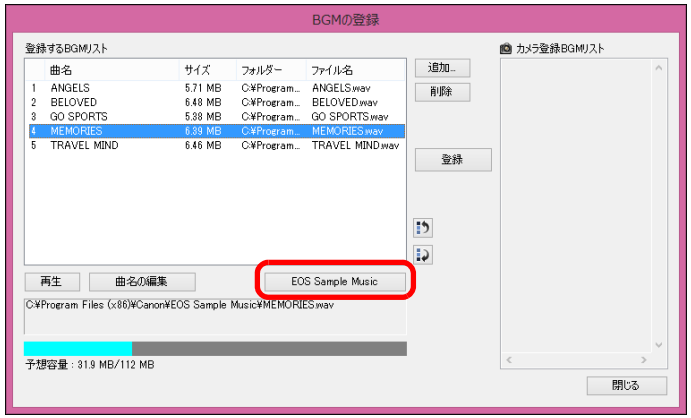
● **[登録する BGM リスト]** から楽曲データを選び、**[再生]** ボタンを押します。



➜ 楽曲データが再生されます。

EOS Sample Music を追加する

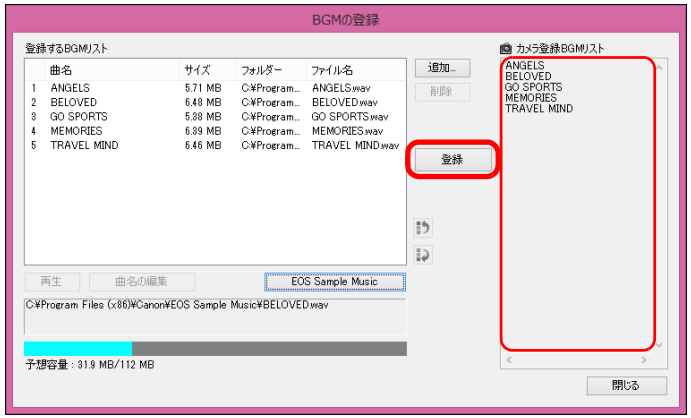
● [EOS Sample Music] ボタンを押します。



➜ パソコン内の EOS Sample Music が **[登録する BGM リスト]** に追加されます。

● EOS Sample Music がパソコンにインストールされていないときは、この操作はできません。

4 [登録] ボタンを押す



➜ カメラのメモリーカードに、**[登録する BGM リスト]** の楽曲データが登録（コピー）されます。

● すでにカメラのメモリーカードに楽曲データが登録されているときは、楽曲データが上書きされて登録されます。

● 1 曲単位で楽曲データをカメラに登録することはできません。

5 [閉じる] ボタンを押す

➜ **[BGM の登録]** 画面が閉じます。

本機能で複製した音楽は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

カメラのメモリーカードに登録できる楽曲データは、次の条件を満たした音楽ファイルです。

ファイルフォーマット	リニア PCM 方式の WAVE ファイル（.WAV .WAVE）
ファイルの時間制限	1 ファイルあたり、29 分 59 秒以内
ファイル数の制限	20 ファイル以内
チャンネル数	2 チャンネル

Web サービスの設定

6D(WG) 6D(W)

Web サービスをカメラに登録する方法について説明します。

CANON iMAGE GATEWAY を使うと、撮影した画像をオンラインフォトアルバムにして公開できるほか、さまざまなサービスを利用することができます。また、CANON iMAGE GATEWAY は、カメラから Facebook、Twitter、YouTube、Flickr やメールなどの Web サービスへ無線で画像を送信するときも、その橋渡しをするサイトとなります。

Web サービスをカメラに登録する前に、パソコンをインターネットへ接続してから、キヤノンの Web サイト（http://canon.com/cig）からお住まいの地域の CANON iMAGE GATEWAY のサイトへアクセスし、画面の指示にしたがって会員登録を行ってください。

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、続けてその Web サービスへのアカウント登録を行ってください。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトをご確認ください。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定にはパソコンが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、キヤノンの Web サイト（http://canon.com/cig）でご確認ください。
- M3 の Web サービスの設定方法については、カメラ本体の使用説明書をご確認ください。

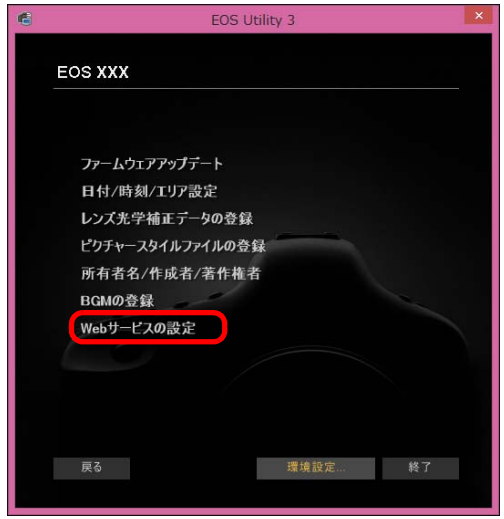
- 当機能を使用するには、EOS Web Service Registration Tool がインストールされている必要があります。
- CANON iMAGE GATEWAY をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境（プロバイダーとの契約やブラウザーソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザー（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、「CANON iMAGE GATEWAY」でご確認ください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げ、[カメラの設定] をクリックする

→ カメラの設定画面が表示されます。

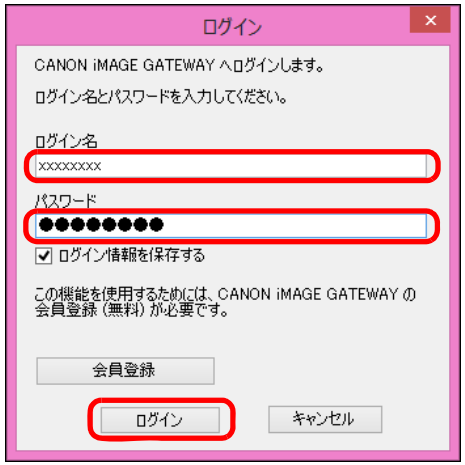
- カメラとパソコンが接続されていないと、[Web サービスの設定] 項目は表示されません。

2 [Web サービスの設定] をクリックする



→ CANON iMAGE GATEWAY ログイン画面が表示されます。

3 CANON iMAGE GATEWAY にログインする



- CANON iMAGE GATEWAY のログイン名とパスワードを入力し、**［ログイン］**ボタンを押します。

→ **［Web サービスの編集］**画面が表示されます。

4 利用する Web サービスを設定する

- 画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定を行います。
- Web サービスの設定が終わったら、画面下の**［完了］**ボタンを押して**［Web サービスの編集］**画面を閉じます。

→ **［Web サービスの設定］**画面が表示されます。

5 Web サービスの設定をカメラに反映する

- 設定したい**［Web サービス］**欄から Web サービス名を選択し、中央の［ ◀ ］ボタンを押します。

→ カメラに反映する Web サービス名が**［カメラ］**欄に表示されます。

- **［カメラ］**欄の［ ］ボタンや［ ］ボタンを押して、カメラのメニューに表示される Web サービスの順番を変更することもできます。
- **［カメラ］**欄を元の状態に戻したいときは、**［Cancel］**ボタンを押します。
- **［カメラ］**欄が設定したい状態になったら、**［OK］**ボタンを押して終了します。

→ Web サービスの設定がカメラに反映されます。

- 送信先がメールのときは、20 件までカメラに登録できます。
- 手順 3 で CANON iMAGE GATEWAY に 2 回目以降にログインしたときは、手順 5 の**［Web サービスの設定］**画面が表示されます。利用する Web サービスの設定を行うには**［Web サービスの編集］**ボタンをクリックします。
- Web サービスの追加や変更をするときは、手順 1 から繰り返します。

4 環境設定

環境設定の各タブ画面で EU の各種機能を変えて、より使いやすくすることができます。

環境設定 70
基本設定 70
保存先フォルダー 70
ファイル名 71
リモート撮影 71
連携ソフト 72
時刻設定 72

環境設定

1 **メイン画面の［環境設定］ボタンを押す**

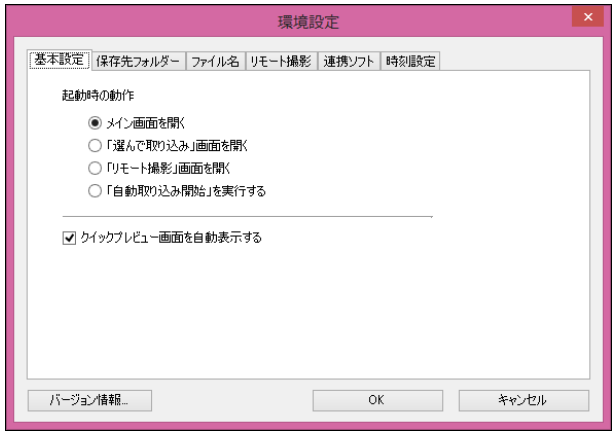
→［環境設定］画面が表示されます。

2 **各項目を設定して［OK］ボタンを押す**

→設定内容が EU に適用されます。

基本設定

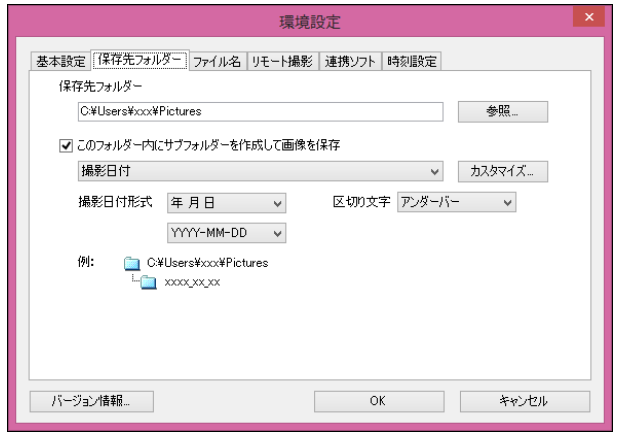
EU を立ち上げたときの動作を設定することができます。



- ［起動時の動作］で［「選んで取り込み」画面を開く］を選んだときは、ビューワー画面（p.79）が表示されます。
- ［起動時の動作］で［「リモート撮影」画面を開く］を選んだときは、キャプチャー画面（p.81）が表示されます。（ M3 はメイン画面が表示されます。）
- ［起動時の動作］で［「自動取り込み開始」を実行する］を選んだときは、［ファイル保存］画面（p.10）が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。
- ［クイックプレビュー画面を自動表示する］のチェックを外すと、リモートライブビュー撮影時、および画像取り込み時に［クイックプレビュー］画面が自動表示されなくなります。

保存先フォルダー

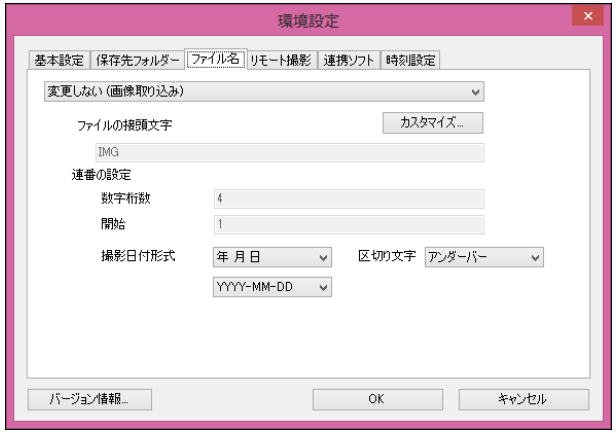
カメラから取り込んだ画像や、リモート撮影した画像の保存先フォルダを設定することができます。



- 保存先フォルダのテキストボックスに直接文字を入力することで、保存先フォルダを指定することもできます。
- 保存先フォルダを設定するときは、［参照］ボタンを押してください。［参照］ボタンを押して保存先フォルダを設定すると、設定した保存先フォルダの下に、サブフォルダが自動的に作成されます。
- ［このフォルダー内にサブフォルダーを作成して画像を保存］をチェックすると、サブフォルダが生成されます。
- 生成するサブフォルダの命名規則はリストボックスから選ぶことができます。また、［カスタマイズ］ボタンを押すことで、サブフォルダの命名規則をカスタマイズすることができます。
- 生成するサブフォルダに撮影日付を使う場合の形式（年月日の表示順序や書式）や、区切り文字を設定することができます。

ファイル名

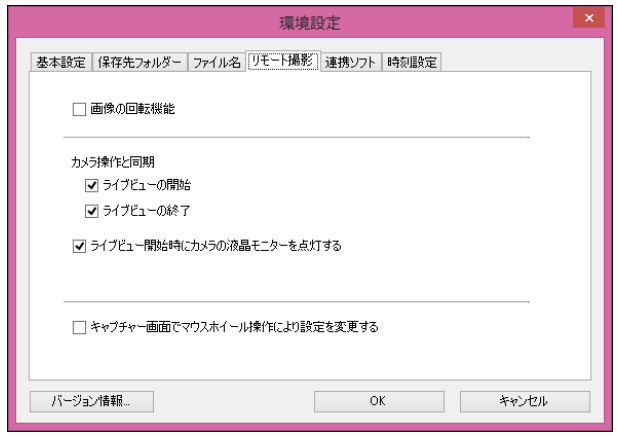
カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影した画像のファイル名を設定することができます。



- 画像のファイル名を設定するときは、ファイルの命名規則をリストボックスから選びます。（**[変更しない（画像取り込み）]** を選んだときは、カメラで設定したファイル名で画像が保存されます）また、**[カスタマイズ]** ボタンを押すことで、ファイルの命名規則をカスタマイズすることができます。
- ファイル名の接頭文字、連番の数字桁数、開始数字は個別に設定することができます。
- ファイル名に撮影日付を使う場合の形式（年月日の表示順序や書式）、区切り文字を設定することができます。

リモート撮影

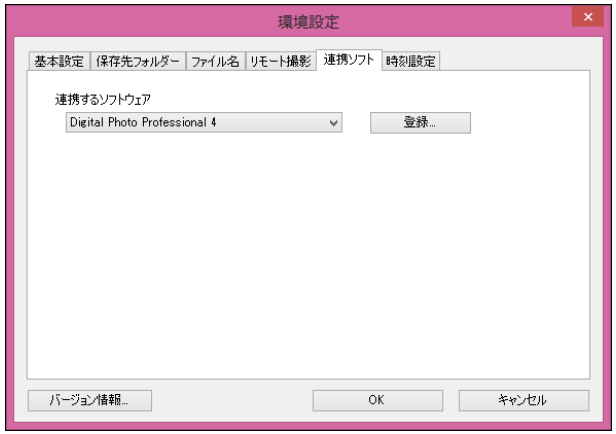
リモート撮影を行うときの動作を設定することができます。
なお、M3 は当機能を使用することはできません。



- **[画像の回転機能]** をチェックすると、撮影時のカメラ位置にかかわらず、撮影画像を回転させる機能を有効にします。なお、回転角度の設定はキャプチャー画面（p.81）で行います。
- **[ライブビューの開始]** をチェックすると、カメラ本体のライブビュー開始と同じタイミングで、**[リモートライブビュー画面]** を自動的に表示します。
- **[ライブビューの終了]** をチェックすると、カメラ本体のライブビュー終了と同じタイミングで、**[リモートライブビュー画面]** を自動的に終了します。また、リモートライブビュー終了時にカメラ本体でライブビュー表示が行われていると、カメラ本体のライブビュー表示も終了させます。
- **[ライブビュー開始時にカメラの液晶モニターを点灯する]** をチェックすると、リモートライブビュー開始と同じタイミングで、カメラ本体の液晶モニターが表示されます。
- **[キャプチャー画面でマウスホイール操作により設定を変更する]** をチェックすると、キャプチャー画面の表示・操作パネル部分、**[ストロボ機能設定]** 画面上でマウスのホイール操作による設定変更が可能になります。

連携ソフト

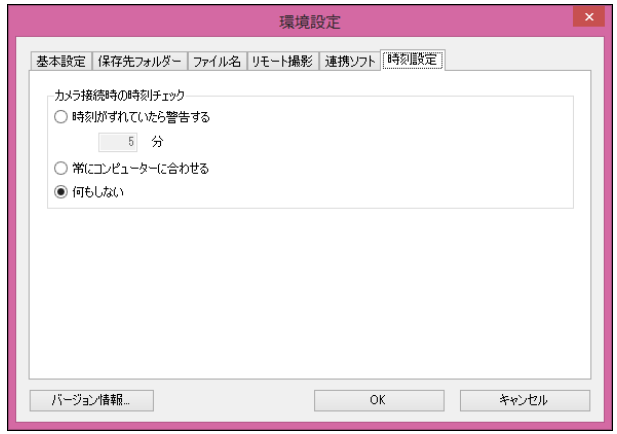
カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影したときに連携するソフトウェアを、リストボックスから選ぶことができます。また、**[登録]** ボタンを押すことで、他社製ソフトウェアを連携するソフトウェアとして登録することもできます。



[登録] ボタンを押すと表示される画面では、他社製ソフトウェアを連携させるときに、通知する画像の種類を指定することができます。

時刻設定

カメラ接続時の時刻に関する設定を行います。



- **[時刻がずれていたら警告する]** を選んだときは、カメラの時刻とパソコンの時刻がどれぐらいずれていたら警告を行うか、1 ～ 60 分の間で設定を行うことができます。
  EU 起動時に、カメラの時刻とパソコンの時刻を比較して、設定値よりずれている場合は、警告画面を表示します。
- **[常にコンピューターに合わせる]** を選んだときは、EU 起動時に、パソコンの時刻をカメラに設定します。

資　料

EU を快適に使っていただくため、この「資料」を設けました。
また、章の最後には索引を設け、知りたいことを見つけやすくしています。

こんなときは 74
ソフトウェアを削除する（アンインストール）..... 76
カメラとプラグの固定 77
ビューワー画面の機能一覧 79
レンズ光学補正データの登録画面の機能一覧 80
キャプチャー画面の機能一覧 81
　露出レベル／ AEB レベル 82
ストロボ機能設定画面の機能一覧 83
リモートライブビュー画面（ライブビュータブ）の機能一覧 84
リモートライブビュー画面（構図タブ）の機能一覧 85
拡大表示画面の機能一覧 86
索　引 87
　この使用説明書について 88
　商標について 88

こんなときは

EU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にチェックしてください。

手順どおりにインストールできない

- ユーザー設定を管理者権限（**[コンピュータの管理者]**、**[管理者]**、**[Administrator]** など）に設定してください。管理者権限以外に設定していると、インストールすることができません。管理者権限の詳しい設定方法は、使用しているパソコンの使用説明書などを参照してください。

EU が立ち上がらない

- 6D(W) 6D(WG) M3（Wi-Fi 通信モデル）とパソコンをインターフェースケーブルで接続しているとき、カメラが Wi-Fi を使う設定になっていると、EU は立ち上がりません。Wi-Fi を使わない設定に変更した後、カメラとパソコンを再接続してください。

カードリーダーで、SD カードを認識できない

- お使いのカードリーダーや、パソコンの OS のバージョンによっては、SDXC カードをカードリーダーに差しても正しく認識されないことがあります。そのときは、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続して画像を取り込んでください。

EU とカメラが通信できない

- デスクトップのタスクバーのアイコン［ ］をクリックして表示される画面で、**[終了]** を選び、デスクトップの **[EOS Utility]** アイコンをダブルクリックして立ち上げてください。

- 動作環境と違ったパソコンでは、EU は正しく動作しません。動作環境にあったパソコンを使ってください。（p.2）

- インターフェースケーブルのプラグは、正しい向きでしっかりと根元まで差し込んでください。正しく接続されていないと、正常な通信ができないだけでなく、カメラやパソコンの故障の原因となります。（p.6）

- カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。（p.8）

- EOS DIGITAL カメラ専用のキヤノン製インターフェースケーブル以外では、EU とカメラは正しく通信できないことがあります。（p.6）

- カメラとパソコンは、カメラに付属のインターフェースケーブルで直接接続してください。ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、EU とカメラが通信できないことがあります。

- 複数の USB 機器（マウス、キーボードを除く）をパソコンに接続していると、正常に通信できないことがあります。正常な通信ができないときは、マウス、キーボード以外の USB 機器をパソコンから外してください。

- 1 台のパソコンに 2 台以上のカメラを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。

- ワイヤレスファイルトランスミッター WFT シリーズ（別売）の「連動撮影」を行っている状態で、カメラとパソコンと接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。

- カメラのバッテリー残量が少ないと、EU との通信はできません。充電済みのバッテリーに入れ換えるか、AC アダプターキット（別売）を使ってください。なお、インターフェースケーブルによるパソコンからカメラへの電源供給は行われません。

EU とカメラの通信が途中で切れる

- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、パソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときに何も操作を行わないと、カメラとの通信が切断され、EU が終了します。その場合には、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから再度〈ON〉にして、EU を立ち上げてください。

- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。万一、パソコンがスタンバイ状態になってしまったときは、インターフェースケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ状態から回復してください。スタンバイ状態でインターフェースケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

リモートライブビュー撮影時に汎用ストロボが発光しない

- カメラに汎用ストロボを装着してリモートライブビュー撮影を行うときは、カメラの［**静音撮影**］は［**しない**］に設定してください。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- デスクトップのタスクバーのアイコン［ ］をクリックして、**［終了］**を選択してください。
- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、管理者／コンピュータの管理者権限でログインしてください。
- OS 標準のソフトウェアのアンインストール方法にしたがって削除してください。
  削除するのは、以下 4 つのソフトウェアです。
  - Canon Utilities EOS Lens Registration Tool
  - Canon Utilities EOS Utility 2
  - Canon Utilities EOS Utility 3
  - Canon Utilities EOS Web Service Registration Tool
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないとパソコンが正しく動作しないことがあります。また、再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

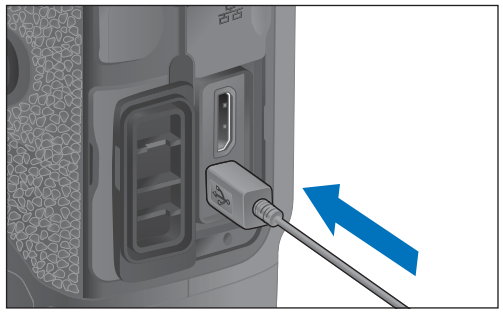
カメラとプラグの固定

1D X　1D C　7D Mk II

リモート撮影中に、カメラからプラグが抜けないよう、カメラとプラグをケーブルプロテクターで固定します。

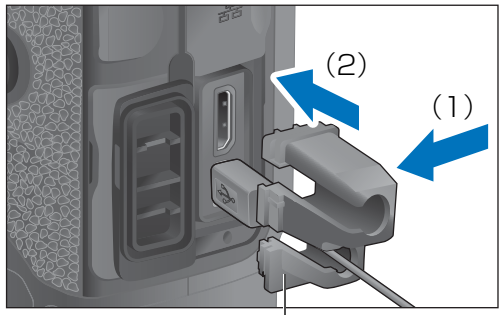
1D X　1D C

1 カバーを開け、ケーブルの小さい方のプラグをカメラの〈A/V OUT / DIGITAL〉端子に差し込む



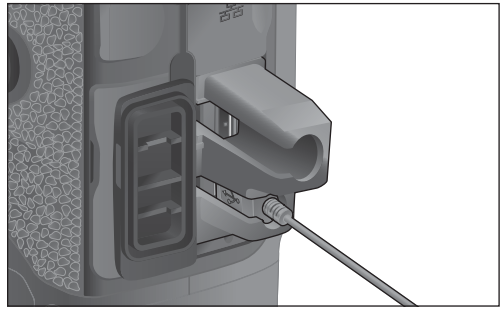
● プラグの〈 〉マークの向きを確認して押し込みます。

2 （1）（2）の手順でケーブルプロテクターを取り付ける

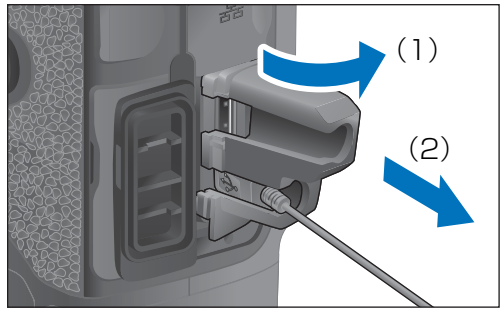


ケーブルプロテクター

取りつけ状態

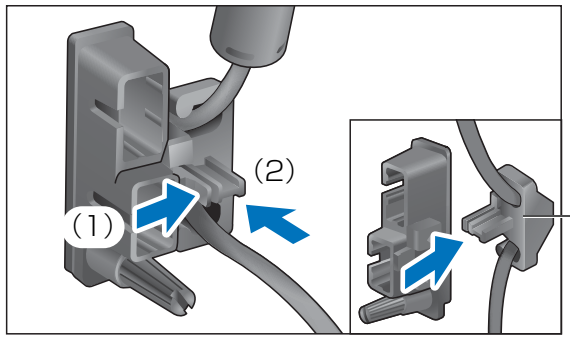


3 ケーブルプロテクターの取り外しは（1）（2）の手順で行う



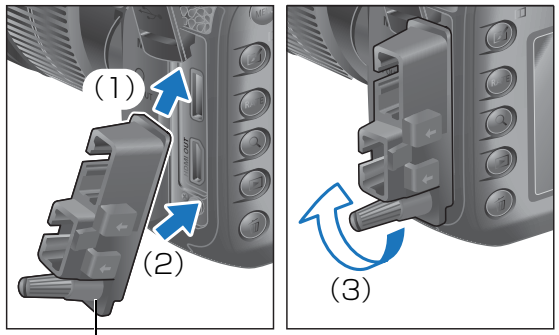
7D Mk II

1



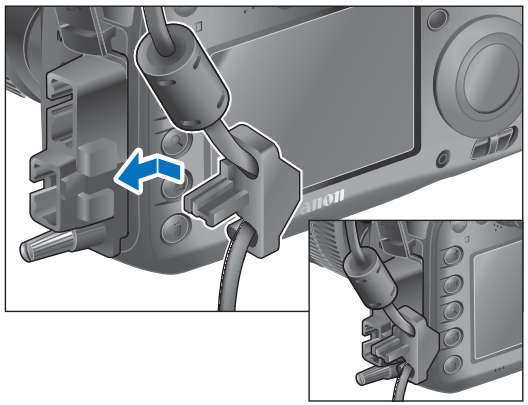
グランパー部

2

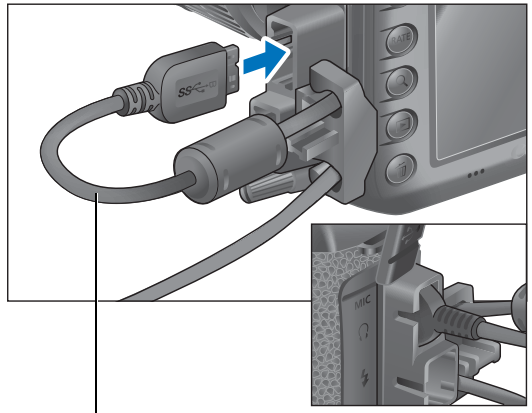


プロテクター本体

3

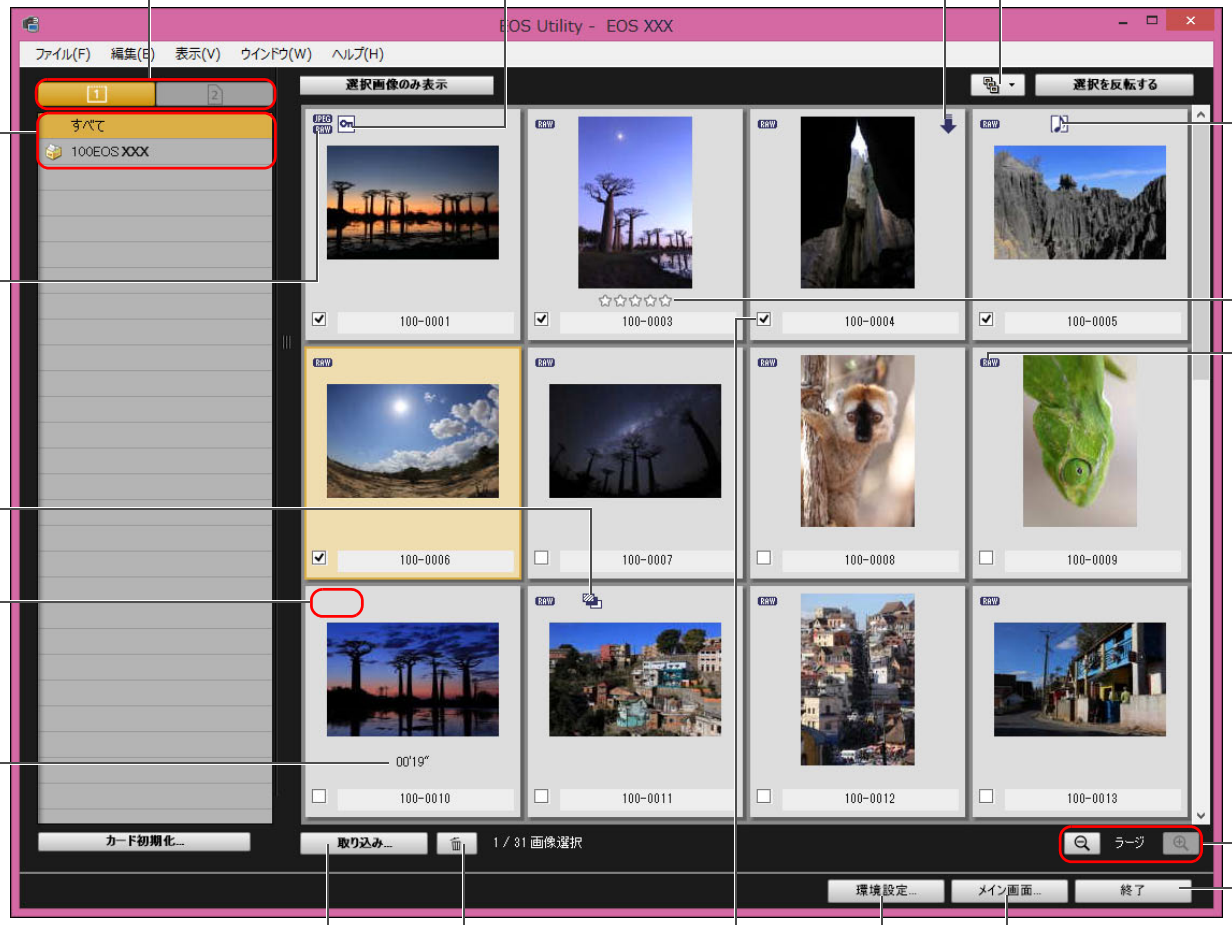


4



付属インターフェースケーブル

ビューワー画面の機能一覧 (p.12)



プロテクトマーク

一度パソコンに取り込んだマーク

記録メディアの切り換え

画像の選択条件

記録メディアの
フォルダ階層

音声録音マーク

RAW+JPEG 画像
マーク

レーティングマーク *

RAW 画像マーク

ブラケティング撮影マーク

動画

録画時間

画像表示の大きさ

EU を終了

画像の消去

チェックマーク (p.12)

メイン画面表示

パソコンへの画像取り込み

[環境設定] 画面表示

* Digital Photo Professional Ver.3.9 以降や、カメラ本体などで設定したレーティング（お気に入り度）を表示します。ただし **[除外]** は表示されません。また、EU でレーティング（お気に入り度）を設定することはできません。

レンズ光学補正データの登録画面の機能一覧 (p.19)

すべてのカテゴリーを表示

レンズのカテゴリー

［レンズカテゴリー選択］で選ばれた、カテゴリー別のレンズを表示

登録されているレンズのみを表示

カメラに登録されているレンズの数／登録可能なレンズの数

［レンズ光学補正データの登録］画面に表示されるレンズ名は、レンズの種類によってはレンズ名の一部が省略されて表示されることがあります。なお、EF-M レンズは、補正データを登録する必要はありません。

キャプチャー画面の機能一覧

- 接続しているカメラの機種や設定によって、表示される内容は異なります。
- *1 ～ *10 の説明は、次ページを参照してください。

*1 バッテリーを使っているときは、バッテリー残量が表示されます。
*2 ストロボ充電が完了したあと、カーソルを撮影ボタンに重ねると表示されます。
*3 撮影に失敗したとき、または撮影できないときに赤く点灯します。また、セルフタイマー撮影のカウントダウン中は点滅します。
*4 ボタンを押すたびに、撮影画像が 90 度単位で回転します。
この機能を有効にするには、環境設定（**[リモート撮影]** タブ画面）で、**[画像の回転機能]** をチェックしてください。（p.71）
*5 AF ／ MF 切り換えボタンが **[AF]** に設定されているときに、撮影ボタンにカーソルを重ねると、AF ／ AE が行われます。
*6 **[MF]** に設定されているときでも、撮影した画像の撮影情報は「AF」になります。
*7 撮影画像の保存場所を選ぶことができます。なお、動画モード時は、カメラ内のメモリーカードのみに保存されます。
*8 5D Mk III 6D 7D Mk II のみ表示されます。
*9 5D Mk III 6D 7D Mk II HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影時、6D **[HDR 逆光補正]** 撮影時は、アイコンが［HDR］になります。6D 7D Mk II **[マルチショットノイズ低減機能]** 設定時は、アイコンが［NR］になります。
*10 それぞれのカスタムモードの設定をすることができます。

露出レベル／ AEB レベル

● 露出レベル／ AEB レベル項目をクリックすると、次のように表示が変わります。

1D X 1D C 5D Mk III 6D 7D Mk II
AEB のブラケティング設定が、表示エリアを超えたときは、スケール外にもブラケティング表示があることを示す［◀］、［▶］マークが表示されます。

● 1D X 1D C 5D Mk III 6D 7D Mk II の AEB 2 枚撮影時は、次のように表示されます。

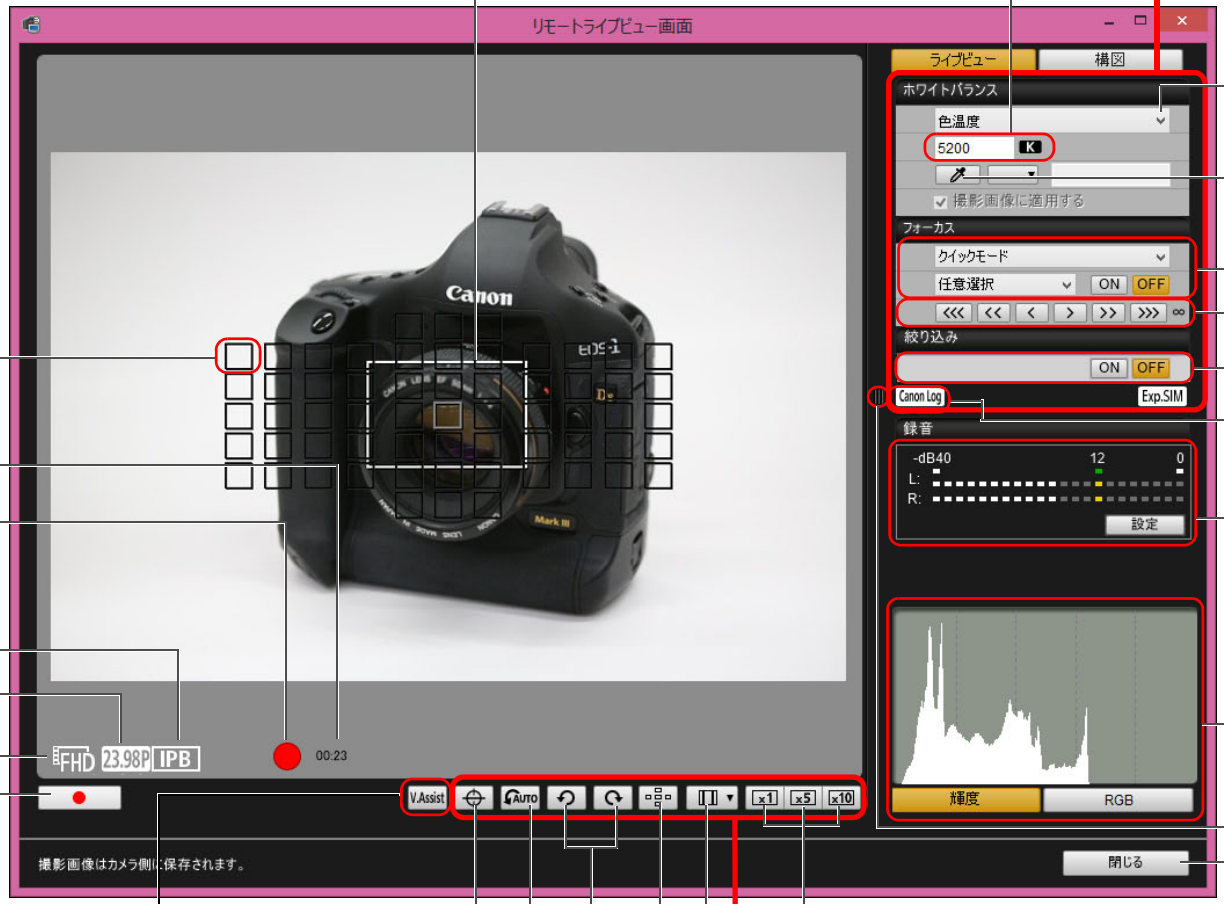
ストロボ機能設定画面の機能一覧 (p.61)

接続するカメラやストロボによって表示される画面が異なります。

*1 先幕シンクロ／ 後幕シンクロ／ ハイスピードシンクロ

*2 設定によって表示内容は異なります。設定の詳細については、お使いの EX スピードライトやカメラの使用説明書をあわせて参照してください。

リモートライブビュー画面（ライブビュータブ）の機能一覧 (p.29)



拡大表示枠

色温度設定

操作部 1

ホワイトバランス選択 (p.43)

クリックホワイトバランス

AF モード (p.38 ～ p.42)

レンズ駆動 (p.38)

被写界深度の確認 (p.42)

1D C Canon Log ガンマ設定表示 *3

1D X 1D C 5D Mk III 6D 7D Mk II 録音レベルの設定 (p.46)

ヒストグラム表示

操作部 1 の表示／非表示

画面を閉じる

表示倍率

操作部 2

アスペクト比設定 (p.45)

AF フレーム表示／非表示

AF フレーム

録画時間

録画中マーク

1D X 1D C 5D Mk III 6D 7D Mk II 動画の圧縮形式

フレームレート

動画記録サイズ

録画開始／停止

1D C ビューアシストボタン *3

1D X 1D C 5D Mk III 6D 7D Mk II 水準器表示／非表示 (p.44)

1D X 1D C 5D Mk III 6D 7D Mk II 自動回転ボタン *1

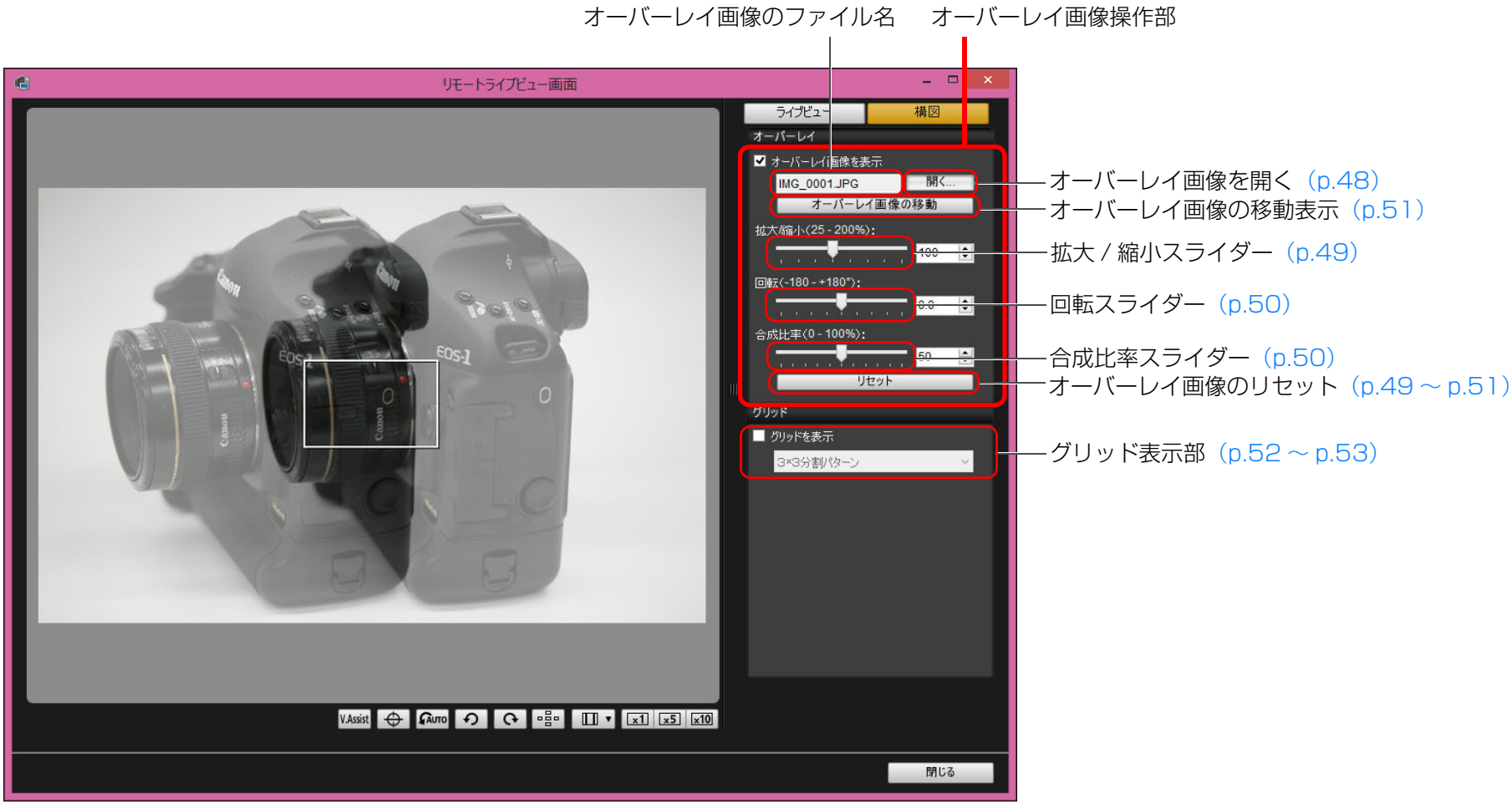
画像の回転 *2

*1 自動回転の設定時に、カメラが縦位置ということが検知されると、**[リモートライブビュー画面]** もカメラの回転方向に合わせて自動的に回転表示されます。

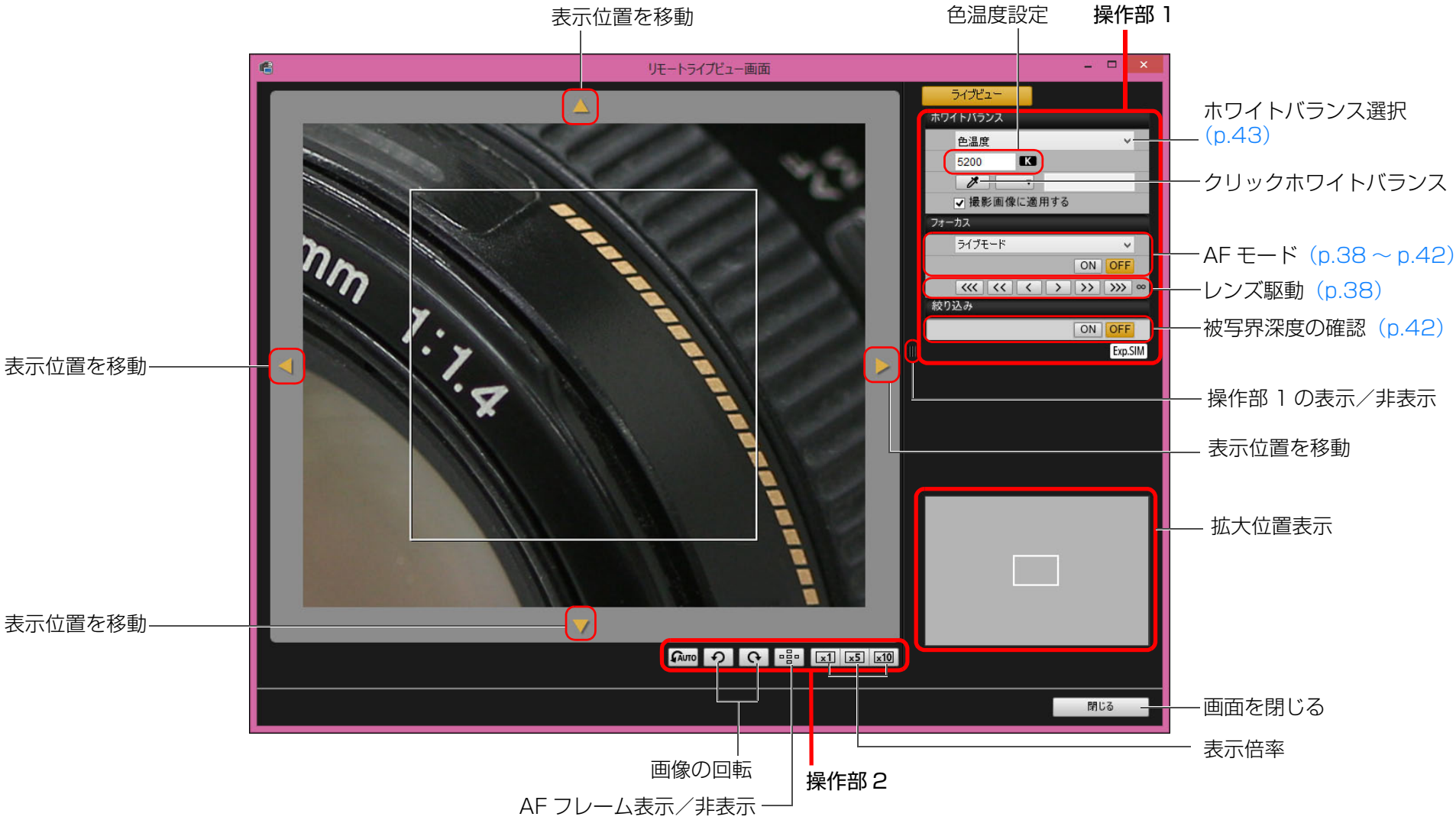
*2 [AUTO] ボタンが ON のときは、[ ] [ ] ボタンで画像の回転を行うことはできません。

*3 1D C 接続時で、カメラに Canon Log ガンマの設定が行われている場合のみ表示されます。

リモートライブビュー画面（構図タブ）の機能一覧 (p.48)



拡大表示画面の機能一覧 （p.37）



索　引

英数字

AF によるピント合わせ 38
EOS Utility の終了 14
EOS Utility の立ち上げ 8
JPEG 記録画質の設定 27
Web サービスの登録 67

あ

アスペクト比の変更（リモートライブビュー撮影） 45
アンインストール 76
オーバーレイ表示機能（リモートライブビュー撮影） 48

か

顔優先ライブモードでピントを合わせる（リモートライブビュー撮影） 41
拡大表示画面 ..... 37、86
カスタムホワイトバランスの適用 22
画像を選んで取り込み 11
カメラからの GPS ログファイルの取り込みと消去 13
カメラ操作による撮影 53
カメラとパソコンを接続する 6
カメラの垂直を出す（リモートライブビュー撮影） 44
カメラの水平を出す（リモートライブビュー撮影） 44
カメラのメモリーカードに BGM を登録する 64
環境設定 70
　基本設定 70
　時刻設定 72
　ファイル名の設定 71
　保存先フォルダーの設定 70
　リモート撮影の設定 71
　連携ソフトの設定 72
基本設定（環境設定） 70
キャプチャー画面 81
　撮影系メニュー 24
　ストロボ制御メニュー 62
クイックモードでピントを合わせる（リモートライブビュー撮影） 38
ケーブルプロテクターの取り付け 77

さ

撮影系メニュー（キャプチャー画面） 24
時刻設定（環境設定） 72
自動（AF）でピントを合わせる（リモートライブビュー撮影） 38
手動でピントを合わせる（リモートライブビュー撮影） 37
ストロボ機能設定画面 83
ストロボ撮影 61
ストロボ制御メニュー（キャプチャー画面） 62
すべての画像を一括して取り込み 10
ソフトウェアの削除 76

た

対応カメラ 2
タイマー撮影 58
動画撮影 54
動作環境 2

は

バルブタイマー 60
ピクチャースタイルの設定 25
被写界深度と露出を確認する（リモートライブビュー撮影） 42
ビューワー画面 ..... 12、79
ファイル名の設定（環境設定） 71
保存先フォルダーの設定（環境設定） 70
ホワイトバランスの補正 27

ら

ライブモードでピントを合わせる（リモートライブビュー撮影） 40
リモートインターバルタイマー撮影 58
リモート撮影の設定（環境設定） 71
リモートバルブ撮影 59
リモートライブビュー画面 ..... 33、84
リモートライブビュー画面の機能 37
　アスペクト比の変更 45
　オーバーレイ表示機能 48
　顔優先ライブモードでピントを合わせる 41
　カメラの垂直を出す 44

カメラの水平を出す 44
クイックモードでピントを合わせる 38
手動でピントを合わせる 37
被写界深度と露出を確認する 42
ライブモードでピントを合わせる 40
リモートライブビュー画面のホワイトバランスを変更する 43
リモートライブビュー画面のホワイトバランスを変更する（リモートライブビュー撮影） 43
リモートライブビュー撮影 29
自動（AF）でピントを合わせる 38
連携ソフトの設定（環境設定） 72
レンズ光学補正データの登録画面 80

この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

EOS DIGITAL 用ソフトウェアに関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：9：00 ～ 18：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。